

ヒーツ熱交換器ユニット 取扱説明書

品名	型式名	B L 品番	号数
147-T001型	HNU-33FKD	XTH-5805APS-AW	33号
147-T002型	HNU-24FKD	XTH-4205APS-AW	24号
147-T003型	HNU-16FKD	XTH-3305APS-AW	16号

このたびはヒーツ熱交換器ユニットをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

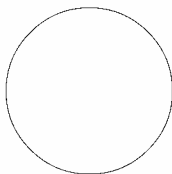
このヒーツ熱交換器ユニットには保証書が付いています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の品名ラベルと銘板をご覧のうえ、品名・製造年号をお知らせください。



もくじ

製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	7

ご利用前の準備	10
機器の準備	10
リモコンを「入」にする	11
現在時刻を合わせる	11

お湯を使うには	12
自動でおふろを沸かすには	14
おふろ沸かしを途中で停止したいときは	15
沸かし直しをするには	15
ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには	16
ふろ温度の設定	16
保温時間の設定	17
ふろ水位の設定	17
チャイムや音声ガイドの音量を調節する	18
音量の設定	18
おふろのお湯を熱くするには(追いだし)	19
おふろのお湯をぬるくするには	20
おふろのお湯をたししたいときには	21
おふろが沸く時刻を予約するには	22
予約運転を開始する	22
省電力機能について	24
暖房運転をするには	25
放熱器の運転/停止	25
暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止	25
浴室予備暖房について	26
浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止	26
運動について	27
暖房静音について	27
暖房静音の設定/解除	27

冬期の凍結予防をするには	28
点検のポイント・お手入れのしかた	29
故障かな?と思ったら	31
アフターサービスについて	34
仕様一覧	裏表紙

お使いいただく前に

はじめて使うときには

使い方

長くお使いいただくために

製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

●おふろもシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。

●スイッチを押すだけの簡単操作でおふろが沸かせます。
(→P. 14 参照)

●予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。
(→P. 22 参照)



●浴室から台所や他の部屋にいる人を呼び出すことができます。

浴室リモコンの呼び出し
スイッチを押す



※138-T413型の浴室リモコンは、呼び出し機能が
付属されていません。

環境にもやさしい!

●リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未
使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
※出荷時の省電力モードは「入」になっています。
(→P. 24 参照)

追いただき配管を自動的にきれいにします

おふろのお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。以下の条件
がそろったときに浴槽のお湯(水)を排水するとふろ配管の残り湯を、きれいなお湯(リモコンの運転が「切」
の場合は水)を約6リットル流して浴槽の循環口から排出します。

- 条件**
1. ふろ自動運転終了後、浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合
 2. 排水中に給湯等を使用していない場合

※この機能の際には、ポンプの回る音がしますが、故障ではありません。

快適です!

●おふろのお湯の温度を自動的に保温します。
また、水位が下がったら
たし湯します。
いつも快適なおふろです。
(→P. 15 参照)



●この機器は、取り付けのリモコンのタイプをお選びい
ただけます。

型 式	セ ャ ッ ト 内 容
138-T410型	浴室リモコン・台所リモコン 取付スイッチなしタイプ
138-T411型	浴室リモコン・台所リモコン 取付スイッチありタイプ
138-T412型	浴室リモコン・台所リモコン 浴室予備電源スイッチありタイプ
138-T413型	浴室リモコン単品 呼び出しスイッチなしタイプ

●この取扱説明書では、138-T410型・T411型・T412
型・T413型の浴室リモコン、台所リモコンについて
説明しています。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただく万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼
びかけています。



警 告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、また
は火災の可能性が想定される内容を示しています。



注 意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害
のみの発生が想定される内容を示しています。

■給表示については次のような
意味があります。



一般的な禁止



接触禁止



分解禁止



必ず行う



アースを接続せよ

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

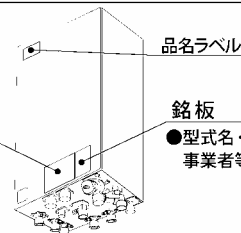
(→P. XX 参照)

参照ページを示しています。

■機器本体の表示について■

使用上の注意

●使用上の注意について
表示しています。



品名ラベル

銘板

●型式名・製造年月・製造
事業者等を表示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、
この内容は必ずお読みください。



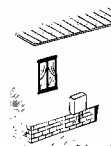
警 告

屋外設置の禁止

●この機器は屋内設置形ですので屋外に設置しない。
雨水の浸入などで故障
の原因となります。



禁 止



機器の設置(および付帯工事)

●機器の設置・移動および付帯工事はお買い上げの
販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な
位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故
の原因になります。

機器本体に無理な力を加えない

●機器本体や接続部などに乗らない。
けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

必ずお守りください

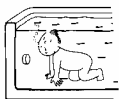
警告

異常時の処置について

- 使用中に異常音を感じた場合は、使用を中止して本書の「故障かな?と思ったら」(→P. 31~P. 33)に従って処置をする。上記の処置をしても直らない場合、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへ連絡する。
- 地震・火災などの緊急時の場合は、迅速に使用を中止する。

お子様には十分な注意を

- 浴槽の循環口付近で湯(水)に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる場合があります。
- 浴槽にお湯張りしているときや沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。



機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。電源が一致しないと機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P. 34 参照)



●この機器はAC100V/50Hzで使います。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

●この部分をお意のままにしないでください。

分解禁止

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。



分解禁止

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし、暖房以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両・船舶への搭載はない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

火災予防のために必ず守ること

- 機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- ①シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出ることがあるので注意する。手のひらで温度確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ②給湯使用時は出湯管(蛇口)が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器が故障した場合には、一瞬熱いお湯が出ることがあるので注意する。手のひらで温度確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ④シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変えない。突然、熱湯や冷水が出ると思わぬ事故につながる場合があります。
- ⑤浴槽に入るときは、手でお湯の温度を確認して入浴する。また、浴槽中のお湯は上下に温度差がある場合がありますのでご注意ください。
- ⑥おふろ沸かし(沸かし直し)や追いだし時には、循環口アダプター付近は熱くなることがあるので注意する。



手で温度を確認



空だき防止

- 追いだしスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



注意

電気事故防止

- 濡れた手でブレーカーをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続せよ

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- パナソニック対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因となります。
- リモコンはお子様がいらずにしないよう注意してください。



禁止

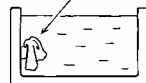


ブレーカーを「切」にしない

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外はブレーカーを「切」にしないでください。

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがなくてください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障原因になります。



禁止

断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。
- 断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理に適さない水が、給水配管内にとどまることがあります。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらずみやかに運転を停止し、感電に注意してブレーカーを「切」にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



専用ブレーカーを「切」にする



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合はブレーカーを一度「切」にし、再度「入」にしてください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。(有料)
- 再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認してください。

必ずお守りください

お願い

停電時またはブレーカーを「切」にしたとき

- この機器は、停電時やブレーカーを「切」にしたときも使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。



給湯栓を閉じる



- 停電またはブレーカーを「切」にした状態が30分以上続いた場合は、リモコンの再設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認後ご使用ください。
- 自動でお風呂を沸かしているときに、停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、再度、運転スイッチを押し、ふろ自動スイッチを押してください。（→P. 14 参照）

入浴剤と洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止



お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ハンコ・脚立を使わずにはメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P. 29 参照）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったりすることがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万ー着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。
- オーバーフロー配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく短めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。（冬期の凍結予防を除く）

長期間使用しないときは

- 万一の熱媒漏れを防止するため熱媒元栓を閉めておいてください。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふぎ出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、オーバーフロー配管は除きます）

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

警告 床暖房についての注意

やけなどに注意

- 高い温度で設定したまま長時間座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こす恐れがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意をあげることが必要です。
 - ・乳幼児や自分の意思で体を動かさない方
 - ・疲労の激しいとき
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方
 - ・お酒や睡眠薬を飲まれた方



禁止

注意

床についての注意

- 床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる
- 床面に水・薬品・しゅう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。

床へは衝撃を加えない

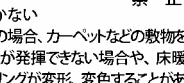
- 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

床仕上材の上に敷物を敷かない

- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色することがあります。



禁止

用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。



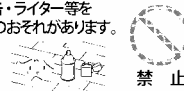
禁止

床下防腐処理について

- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

火災予防

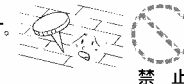
- 床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



禁止

床についての注意

- 床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・タニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。



禁止

家具などを直接床に置かない

- 床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にバットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

ホットカーペットとの併用はしない

- 床仕上材が変形、変色するおそれがあります。



禁止

カーペットの張替えについて

- 張替える場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープがグリップバーにて固定するようにしてください。釘あるいはばりょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えると、全面接着することは避けてください。

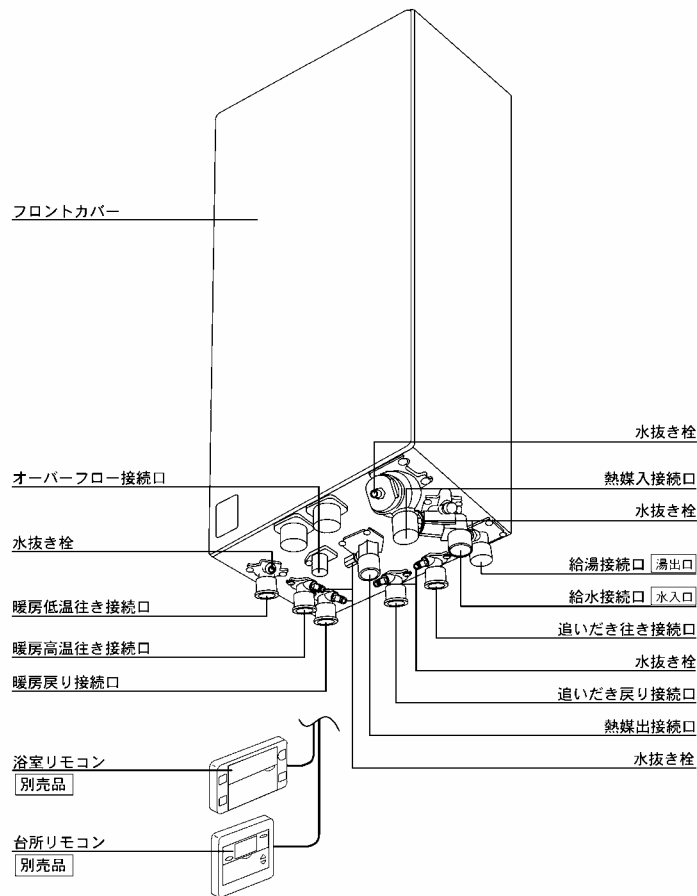


禁止

床暖房以外の端末機器についての注意は、端末機器の取扱説明書にあります。端末機器の取扱説明書をよくお読みください。

各部の名称とつなぎ

■機器本体 (図は147-T001型を示します)



■浴室リモコン (浴室に取付けます)

138-T410型・T411型・T412型 (別売品：台所リモコンセット品)

138-T413型 (別売品：浴室リモコン単品 呼び出しスイッチなしタイプ)

給湯やおふろ沸かしなどの操作を浴室リモコンで行います。セット品の台所リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作 (一部の操作) することもできます。通常はふたを閉じておいてください。

※138-T413型は浴室リモコン単品のみでのご利用になります。

ふろ自動スイッチ

設定した温度・水位で自動的におふろを沸かしします。
(→P. 14参照)

ふろ自動ランプ

ふろ自動運転中、沸き上げ中は赤、保温中は緑で点灯します。

追いだしランプ

追いだし中に緑で点灯します。

追いだしスイッチ

おふろがぬるくて熱くしたいときに押します。
(→P. 19参照)

運転スイッチ

操作するとき最初に「入」にします。
(→P. 11参照)

スピーカー

設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

呼び出しランプ

呼び出し中に緑で点滅します。

呼び出しスイッチ

浴室外にある台所リモコン等に呼び出しチャイムと呼び出し音声ガイドが流れます。

※138-T413型には呼び出しスイッチおよび機能がありません。

浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなボタンがあります。

ぬるくボタン

熱いおふろをぬるくするときに押します。
(→P. 20参照)

たし湯ボタン

おふろのお湯を増やしたいときに押します。
(→P. 21参照)

優先ボタン

給湯温度調節の優先を、台所リモコンまたは浴室リモコンに切替えるときに押します。
(→P. 13参照)

上・下ボタン

ふろ温度・保温時間・ふろ水位・現在時刻・予約時刻・音量の調節をするときに押します。

設定ボタン

保温時間・ふろ水位・現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。また、ボタンを長押しすると省電力モードの設定・解除が行えます。(→P. 24参照)

ふろ予約ボタン

おふろ沸かしの予約をしたいときに押します。
(→P. 22参照)

給湯温度ボタン

給湯温度の調節をするときに押します。
(→P. 12参照)



給湯加熱表示・ふろ/暖房加熱表示は左右に動いて、加熱していることをお知らせします。

給湯加熱表示・ふろ/暖房加熱表示の補足説明

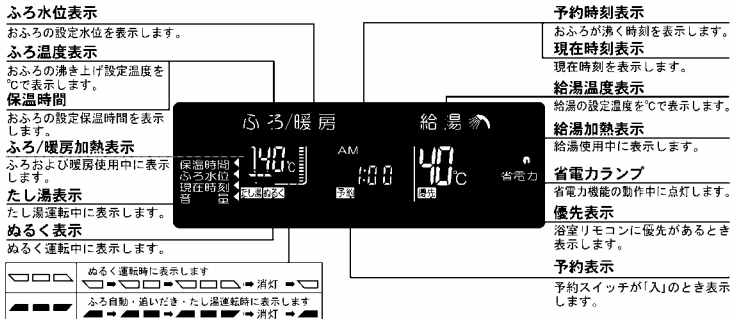


加熱中は左右に動きます。

各部の名称と使い方

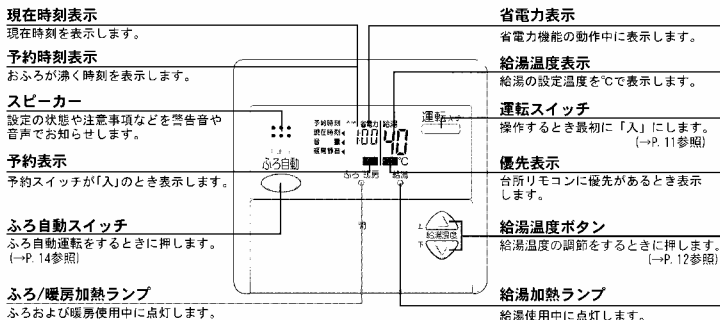
■浴室リモコンの画面表示

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確認することができます。
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

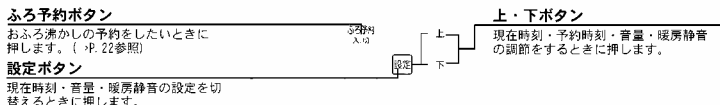


■台所リモコン 138-T410型(暖房スイッチなしタイプ)

台所に設置して使用します。
給湯温度の設定や、ふろ沸かしの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。



台所リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。



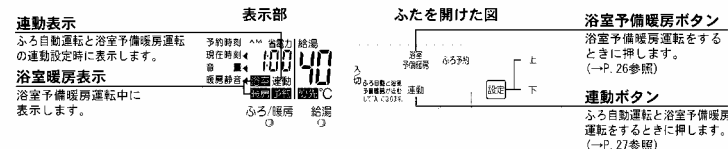
■台所リモコン 138-T411型(暖房スイッチありタイプ)

給湯暖房機用の暖房スイッチ付台所リモコンです。
給湯温度の設定やおふろの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、暖房運転の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※説明は台所リモコン(138-T410型)との違いのみ説明します。



■台所リモコン 138-T412型(浴室予備暖房スイッチありタイプ)

給湯暖房機用の浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンです。
給湯温度の設定やおふろの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、浴室暖房乾燥機の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※説明は台所リモコン(138-T410型)との違いのみ説明します。



ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

■機器の準備

- 1 暖房元バルブを全開にします。
- 2 給水元栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 3 熱媒元栓を全開にします。
やなど注意
配管は高温になっていますので
さわらないでください。
- 4 分電盤のスイッチ(ブレーカー)を「入」にします。
どのスイッチがこの機器に接続されているか、事前に確認してください。

ご利用前の準備

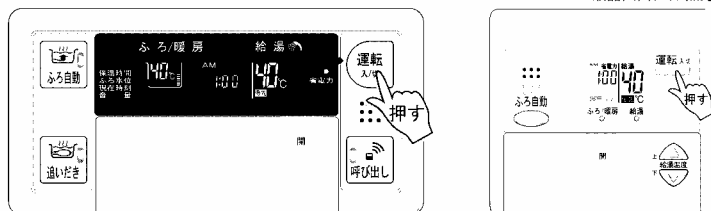
準備ができたら、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

- リモコンを「入」にする ※電源投入後、リモコンが表示するまで多少時間がかかります。
(リモコンの図は138-1410型で説明します)

1 浴室リモコンまたは台所リモコンの運転スイッチを押します。

リモコンの画面に図のような液晶表示がされます。
運転スイッチを押したリモコンには、優先表示が表示されます。
ふろ、給湯を使わないときは、運転スイッチをもう一度押します。
リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。

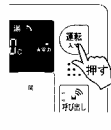
画面表示・優先表示
省電力表示
液晶画面ライト点灯



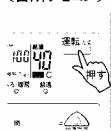
- 現在時刻を合わせる ※現在時刻合わせは、いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します。

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けず 設定ボタンを押して現在時刻を設定します

(浴室リモコン)



設定ボタンを押し、△を現在時刻の右側に表示させ、現在時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
「現在時刻です 上下ボタンで入力してください」
△または▽ボタンを現在時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。
△・▽ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。
「現在時刻、セットされました」

△ボタンは時刻が進みます
▽ボタンは時刻が戻ります
※ボタンを押し続けると
連続的に数字が変わります

- 出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。
●AM(午前)・PM(午後)に注意してください。
●設定時に△または▽ボタンを押さないで約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
●初回の時刻合わせは、設定ボタンを1回押せば時刻合わせができます。その後時刻を直したい場合は、浴室リモコンは設定ボタンを3回台所リモコンは1回押してください。

お湯を使うには

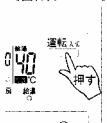
おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。
給湯は、浴室リモコン、台所リモコンのいずれからでも操作できます。
工場出荷時には40℃の設定になっています。

1 運転スイッチ「入」を確認します

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 給湯温度を調節します

(浴室リモコン) ふた開 (台所リモコン) ふた開



給湯温度を調節するリモコンに優先が表示されていることを確認します。
浴室リモコンはふたを開けます。
給湯温度△または▽ボタンを押して
お好みの温度に設定します。

△ボタンは給湯温度が1段階ごと上がります。
▽ボタンは給湯温度が1段階ごと下がります。

給湯温度は以下の14段階で設定できます。

ご使用の目安 (単位:℃)													
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60
銭湯など	シャワー・給湯など					給湯など					高温		

※工場出荷時

3 給湯栓を開けます



浴室リモコンでは給湯加熱表示△が表示します。
台所リモコンでは給湯加熱ランプが点灯します。

4 給湯栓を閉じます



浴室リモコンでは給湯加熱表示△が消えます。
台所リモコンでは給湯加熱ランプが消灯します。
ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

お湯を使うときの注意

- ⚠警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこなうとやけどのおそれがあります。
- シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしほり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
- 水温が30℃近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を増やすか、水と混合してお使いください。
- 給湯およびシャワーを使用中に、ふろ自動運転(保温を除く)やたし湯運転をすると、ふろ設定温度でお湯が出ます。
- お湯を使用中に、ふろ自動・たし湯運転をするとお湯の量が減る場合があります。
- 追いだきや暖房運転を使用中にお湯を使用すると、お湯の量が減る場合がありますが、故障ではありません。

お湯を使うには

給湯温度を調節するときの注意

●ご注意ください

- 50℃、55℃、60℃に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが「熱い温度にセットされました 注意してください」とお知らせします。

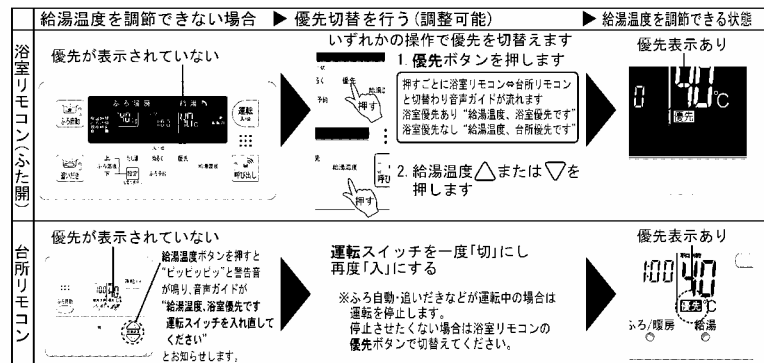
●お願い

- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）、たし湯、ぬるく運転中は、台所リモコンの給湯温度△または▽ボタンや、浴室リモコンの給湯温度△または▽ボタンを押すと「ビッピッピッ」と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。60℃に設定しようとする「ビッピッピッ」と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、一旦出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40℃になります。再度セットし直してください。

■優先切替について

給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

※浴室リモコン（138-T413型）には、「優先切替」の機能がありません。優先ボタンを押すと「ビッピッピッ」と警告音が鳴ります。

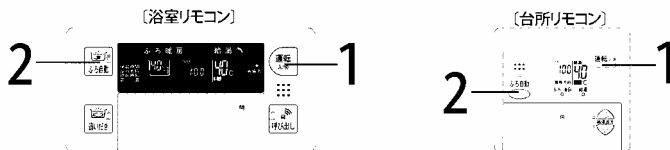


- 給湯優先切替時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替時には、設定温度が50℃以上の場合「熱い」温度にセットされました注意してください」とお知らせします。音声はいずれかのスイッチやボタンを押すと、止まります。

自動でおふろを沸かすには

おふろに水を入れて沸かし、ぬるくなったらまた沸かす。という浴室を行ったり来たりする面倒な作業もありません。「ふろ自動運転」により、スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。

はじめてお使いのときはふろ温度：40℃、保温時間：4時間、ふろ水位：水位バー6（およそ36cm）の設定です。ふろ温度や保温時間、ふろ水位を変更したいときはP. 16～P. 17をご覧ください。

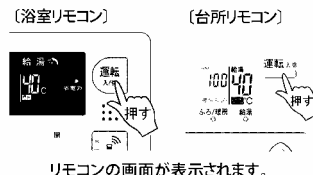


準備 浴槽の排水栓をしてふたをしす

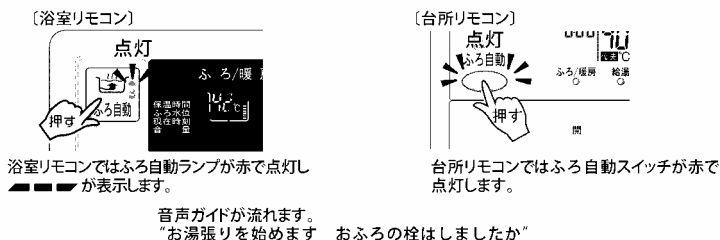
- ①浴槽の排水栓をします。 ②浴槽のふたをします。



1 運転スイッチを「入」にします



2 ふろ自動スイッチを押します



警告 ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。

●入浴の際には念のためよくきかせて、湯がげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

●ご注意ください

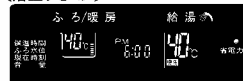
- 以下の場合「もうすぐおふろに入れます」の音声ガイドが流れません。
 1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
 2. 残り湯があってもふろ自動運転を行った際、現在のふろ温度が設定温度に近いが高いとき。
- 自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。次の操作を行ってください。
運転スイッチを「入」にし、ふろ自動スイッチを押します。

自動でおふろを沸かすには



2-1 お湯張りを開始します。

〔浴室リモコン〕



お湯張り中表示
(台所リモコン)



お湯張り中点灯

設定水位に近くなると、各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。
“もうすぐおふろに入れます”

おふろ沸かしを途中で停止したいときは

もう一度、ふろ自動スイッチを押します。

浴室リモコンのふろ自動ランプ、台所リモコンのふろ自動スイッチが点灯して、おふろ沸かしが停止します。

沸かし直しをするには

ふろ自動スイッチを押します。浴室リモコンのふろ自動ランプ、台所リモコンのふろ自動スイッチが点灯して、おふろ沸かしを始めます。

おふろが沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが、残り湯の水位により浴槽水位が一定とならない場合があります。

お願い ●排水栓を忘れると、ふろ自動運転中、浴室リモコンに“032”か“252”が点滅し運転が停止します。この場合は、排水栓をして運転スイッチを「切」にし、3秒以上経過してから再度運転スイッチを「入」にしてふろ自動運転を行ってください。

お願い ●ふろ自動運転（保温を除く）やたし湯運転中に台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ設定温度でお湯が出ます。このとき台所や洗面所などで使っているお湯の量が減る場合があります。

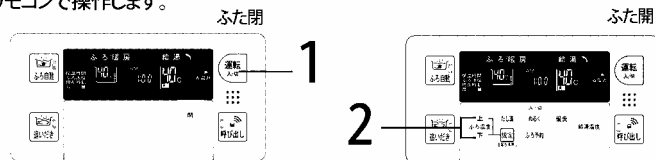
●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に浴室リモコンの給湯加熱表示④（台所リモコンは給湯加熱ランプ）がついたり消えたりすることは異常ではありません。

●残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで異常ではありません。

●保温時のおふろ沸かしは、気温等により約15～30分の間隔で行います。

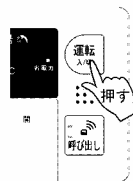
ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセッするには

浴室リモコンで操作します。



ふろ温度の設定 工場出荷時には40℃に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けふろ温度を設定します



ふろ温度△または▽ボタンを押して
お好みの温度に設定します。

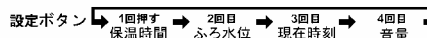
△ボタンは温度が上がります。
▽ボタンは温度が下がります。

ふろ温度は以下の12段階で設定できます。

ご使用の目安 (単位:℃)											
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい				標準						あつい	

■:工場出荷時

- お願い** ●浴槽の種類や施工条件によって、水位を高めにセッするとあふれる場合があります。最初は、工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをお勧めします。
- 表示される温度と水位は、実際とは多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。なお、ふろ水位 (cm) は、循環口の中心が浴槽下面から15 cmにあることを前提に設定されています。
- 設定は記憶されるので、次回からはセッする必要はありません。ただし、ブレーカーを「切」にしたまま停電などによって30分以上通電がない場合は、再セッが必要です。
- 保温時間・ふろ水位の設定時に△または▽ボタンを押さないで約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 設定ボタンを順に押して「保温時間」「ふろ水位」「音量」を続けてセッすることもできます。セッすると音声ガイドが「保温時間、ふろ水位、現在時刻、音量セッされました」と設定した項目についてお知らせします。
- 続けてセッする場合、設定ボタンは以下のように操作します。



●保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセッするには

保温時間の設定 工場出荷時には4 時間に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



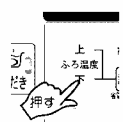
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、**◀**を保温時間の右側に表示させ、保温時間表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“保温時間です 上下ボタンで入力してください”

3 保温時間を設定します



- △または▽ ボタンを保温時間表示が点滅している間（約10秒間）に押してください。
- △ ボタンは保温時間が長くなります。
- ▽ ボタンは保温時間が短くなります。
- △・▽ ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
- 音声ガイドが流れます。
- “保温時間、セットされました”

（単位：時間）
※保温しない場合は、“0”に設定してください。

ふろ水位の設定 工場出荷時には水位バー6（およそ36 cm）に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



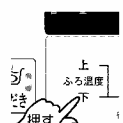
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します



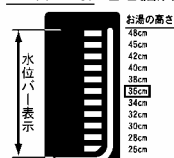
設定ボタンを押し、**◀**をふろ水位の右側に表示させ、水位バーが点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“ふろ水位です 上下ボタンで入力してください”

3 ふろ水位を設定します



- △または▽ ボタンを水位バーが点滅している間（約10秒間）に押してください。
- △ ボタンは水位バーが増え水位が高くなります。
- ▽ ボタンは水位バーが減り水位が低くなります。
- （水位につきましては右記水位表示をご参照ください）
- △・▽ ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
- 音声ガイドが流れます。
- “ふろ水位、セットされました”

ふろ水位の目安 □：工場出荷時



※ふろ水位とは浴槽底からのお湯の高さのことです。

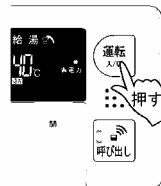
チャイムや音声ガイドの音量を調節する

リモコンから流れる呼び出しチャイムや音声ガイドの音量は、大きくしたり小さくしたり、無音にしたりすることができます。音量はそれぞれのリモコンで別々に設定できますので、お好みに応じて設定してください。

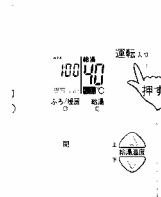
音量の設定 工場出荷時には3（大）に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



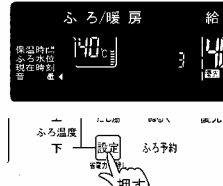
〔台所リモコン〕



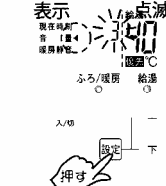
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します

〔浴室リモコン〕



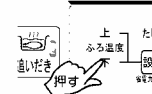
〔台所リモコン〕



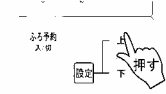
設定ボタンを押し、**◀**を音量の右側に表示させ、音量表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“音量です 上下ボタンで入力してください”

3 音量を設定します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



- △または▽ ボタンを音量表示が点滅している間（約10秒間）に押してください。
- △ ボタンは音量が大きくなります。（最大音量は“3”）
- ▽ ボタンは音量が小さくなります。（最小音量は“0無音”）

0（無音） 1（小） 2（中） **3（大）** ■：工場出荷時

△・▽ ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。音声ガイドが流れます。
“音量、セットされました”



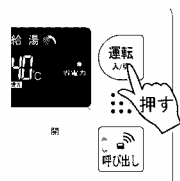
- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 設定時に△ または▽ ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、浴室リモコンで呼び出しスイッチ（138-1413型を除く）が押されたときの呼び出し音声ガイドは、音量“小”で台所リモコンより流れます。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音“ピピピピ”の音は調節できません。

お風呂のお湯を熱くするには (追いだき)

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。浴室リモコンで操作します。

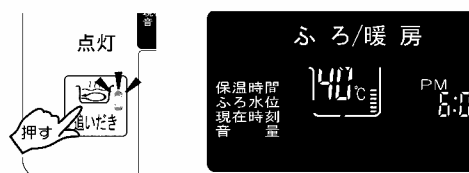


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 追いだきスイッチを押します



追いだきランプ (橙) が点灯します。
 ■■■ としばらくして、ふろ/暖房加熱表示^④が点灯し、追いだき運転を開始します。
 現在温度+2℃で沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度がふる設定温度より低い場合は、設定ふる温度まで沸き上げます。
 運転が終了すると追いだきランプが消え、ふろ/暖房加熱表示^④と■■■も消えます。

追いだき運転中に停止させるには

もう一度、追いだきスイッチを押します。
 追いだきランプとふろ/暖房加熱表示^④と■■■が消灯して、追いだき運転を停止します。

注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯 (水) があることを確認する。

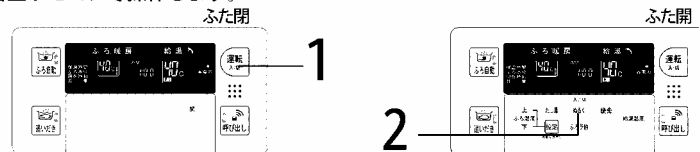
お願い ●追いだきスイッチは長く (5 秒以上) 押さないでください。入浴中に追いだきスイッチを5 秒以上押し続けると、浴室リモコンに「032」が点滅し運転を停止します。誤って押し続けた場合は運転スイッチを「切」にして、3 秒以上経過してから再度「入」にしてください。

- 追いだきスイッチを押してから追いだきを始めるまで、時間がかかる場合があります。
- 追いだきで停止の操作をしない場合は、現在温度+2℃で沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度 (現在温度+2℃) が設定温度に達しない場合は設定ふる温度まで沸き上げて自動的に停止します。
- 一度、追いだきをして自動停止し、もっと熱くしたいときは、もう一度追いだきスイッチを押してください。お好みの湯かげんになったら、追いだきスイッチを押して停止してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中 (追いだき中) は、追いだきスイッチを使用できません。押すと「ビッピッピ」と警告音が鳴ります。
- この機器は給湯や暖房運転使用中に追いだきをする、追いだき能力が低下する場合がありますが、故障ではありません。

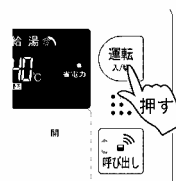
お風呂のお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱くてぬるくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水 (約12ℓ) を入れて、かくはんを行います。

浴室リモコンで操作します。

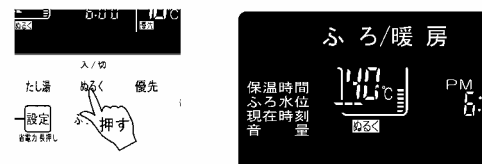


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けぬるくボタンを押します



ぬるくが表示されます。
 しばらくして、□□□ が表示されぬるく運転を開始します。
 約12ℓの水を入れて、かくはんしてから自動停止します。
 運転が終了するとぬるく表示が消え、□□□も消えます。

ぬるく運転中に停止させるには

もう一度、ぬるくボタンを押します。
 ぬるく表示と□□□が消灯して、ぬるく運転を停止します。

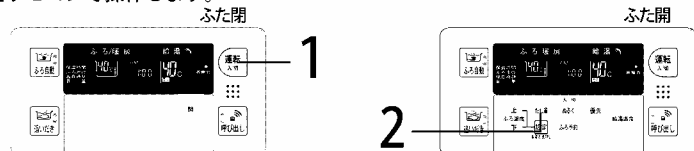
❗ ご注意ください

- ぬるく運転中に給湯栓 (シャワーを含む) を開けると水が出てきます。
- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
- もっとぬるくしたいときは、もう一度ぬるくボタンを押してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中 (追いだき中) はぬるくボタンを使用できません。ボタンを押すと「ビッピッピ」と警告音が鳴ります。ふろ/暖房加熱表示^④または給湯加熱表示^⑤が消えてからぬるくボタンを押してください。お湯の使用中也ぬるくボタンを使用できません。

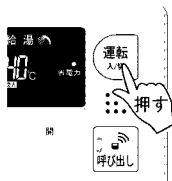
お風呂のお湯をたししたいときには

浴槽のお湯の量を増やしたいときには、「たし湯運転」があります。この機能では自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れて、かくはんを行います。

浴室リモコンで操作します。

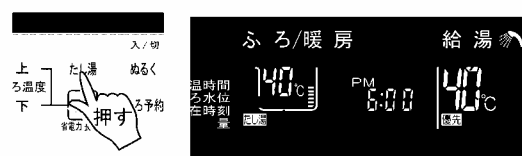


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けたし湯ボタンを押します



たし湯が表示されます。
給湯加熱表示 Δ と Δ が点灯し、たし湯運転を開始します。
ふろ設定温度の湯約24ℓを入れて、かくはんしてから自動停止します。
運転が終了するとたし湯表示が消え、給湯加熱表示 Δ と Δ も消えます。

たし湯運転中に停止するには

もう一度、たし湯ボタンを押します。
たし湯表示、給湯加熱表示 Δ 、 Δ が消灯して、たし湯運転を停止します。

●ご注意ください

- たし湯運転中は、給湯栓から出るお湯の温度がふろ設定温度になります。このとき、給湯温度の表示は変わりません。
- たし湯運転中に給湯栓を開けたときや、給湯使用中にたし湯を開始すると給湯栓から出るお湯の温度はふろ設定温度になります。給湯設定温度に戻すには、給湯を一旦停止してたし湯終了後再度給湯栓を開けてください。給湯温度が50℃以上の場合はチャイムが鳴り、音声ガイドが「熱い温度にセットされました 注意してください」とお知らせします。
- ふろ自動運転のお湯張り中(追いだき中)は、たし湯ボタンを使用できません。ボタンを押すと「ピッピッピ」と警告音が鳴ります。

お風呂が沸く時刻を予約するには

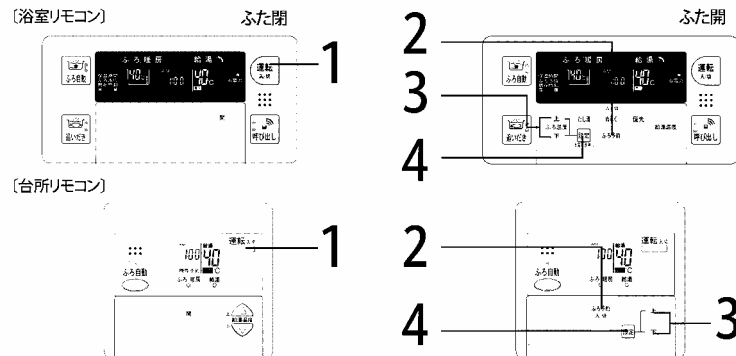
お風呂の沸き上がり時間を予約することができます。
予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。

予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓が閉じており、お風呂のふたがしてあることを確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(P. 11参照)
- 予約時刻を確認。(P. 23参照)
- ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(P. 16～17参照)

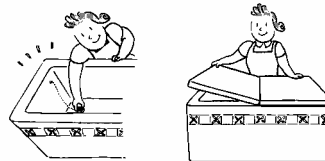


■予約運転を開始する お風呂の沸き上がり完了する時刻をセットし、予約を開始します。

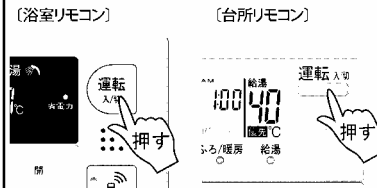


準備 浴槽の排水栓をしてふたをします

- ①浴槽の排水栓をします。 ②浴槽のふたをします。



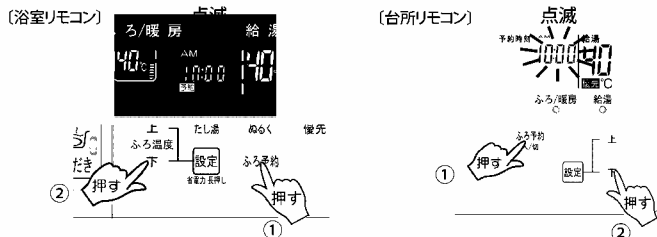
1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

おふろが沸く時刻を予約するには

2 リモコンのふたを開けふろ予約ボタンを押し、予約時刻を設定します



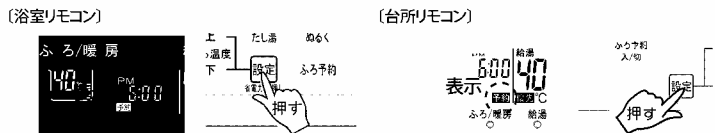
予約時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

△または▽ボタンを予約時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。

△ボタンは予約時刻が進みます。

▽ボタンは予約時刻が戻ります。

*ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります



予約時刻の設定後、設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。

音声ガイドが流れます。

“予約されました おふろの栓はしました”

予約表示され、予約時刻表示が点滅から点灯に変わり現在時刻を表示します。

予約の設定は予約運転ごとに
毎回行ってください

予約を取消したいときは

もう一度、ふろ予約ボタンを押します。音声ガイドが流れます。“予約、解除されました”
リモコンの予約表示が消えて予約が取消されます。

すでにおふろ沸かしが始まってふろ自動ランプが点灯しているときにはふろ自動スイッチを押してください。運転が停止します。

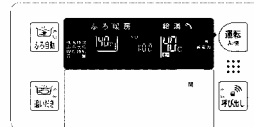


- 出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となります。
- 予約時刻は記憶されますので毎回セットする必要はありません。
- 浴室リモコンに予約表示が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また予約「入」かつ、運転「切」の状態でもふろ予約ボタンを押すと予約は解除されます。
- 停電やブレーカーを「切」にした場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。
- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、気温により多少前後する場合があります。

省電力機能について

浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作しないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。このモードを使うことで電気の節約になります。

浴室リモコンで操作します。



* 出荷時は省電力モードは「入」になっています。

運転スイッチ「入」と省電力ランプの点灯を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

省電力モードの解除

省電力モード中の場合は、リモコンの画面を通常表示させます。(表示の方法は下記参照)

浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます。
音声ガイドが流れます。
“省電力、解除されました”

(浴室リモコン) 省電力ランプが消灯します (台所リモコン) 省電力表示が消えます



* 運転スイッチの「入」/「切」では省電力モードは解除されません。

省電力モード中に画面を表示させるには給湯栓を開ける、もしくは、各スイッチおよびボタンを押すと画面が表示されます。

● ご注意ください

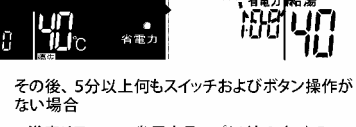


左記のスイッチを押すと、画面が表示されると同時に運転が開始します。

省電力モードの設定

浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます。
音声ガイドが流れます。
“省電力、セットされました”

(浴室リモコン) 省電力ランプが点灯します (台所リモコン) 省電力表示がされます



その後、5分以上何もスイッチおよびボタン操作がない場合

浴室リモコン→省電力ランプ以外のすべての画面表示が消えます。

台所リモコン→液晶表示画面のライトが消えます。

* 下記の場合、省電力モードでも画面表示します。

- お湯を使用しているとき
- 給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ふろ自動運転中および保温中(最長8時間)

お願い

- 省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに給湯・シャワーを使うときは、一度画面表示をさせて給湯温度を確認してからご使用ください。
- ふろ自動・追いだし・呼び出しスイッチ以外のボタンは、画面が消えている状態では受け付けません。ふろ自動・追いだし・呼び出しスイッチ以外のボタンを使用するときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。
- 省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)とき給湯の優先が浴室リモコンにあって台所リモコンに優先を移す場合は、次の手順で行ってください。
① 台所リモコンの運転スイッチを押して液晶表示画面のライトを点灯させ、もう一度運転スイッチを押して運転「切」にします。
② 再度、運転スイッチを押して運転「入」にします。台所リモコンが優先となります。



暖房運転をするには

システムエアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。操作はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

■放熱器の運転/停止

〈放熱器に運転スイッチがあり、信号線を接続している場合〉

放熱器の運転

放熱器の運転スイッチ「入」にします。

浴室リモコンのふろ/暖房加熱表示^④と
台所リモコンのふろ/暖房加熱ランプが点灯します。
しばらくしてファンが回り、
暖かい空気が出てきます。



放熱器の停止

放熱器の運転スイッチ「切」にします。

浴室リモコンのふろ/暖房加熱表示^④と
台所リモコンのふろ/暖房加熱ランプが消灯します。
放熱器の運転が停止します。



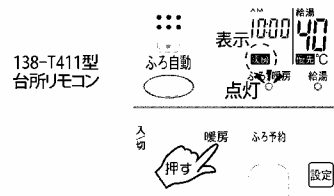
■暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止

〈放熱器に運転スイッチがない場合や信号線を接続していない場合〉

放熱器の運転

放熱器のバルブを開け、
台所リモコンの暖房ボタンを押します。

浴室リモコンのふろ/暖房加熱表示^④と
台所リモコンの暖房表示および
ふろ/暖房加熱ランプが点灯します。

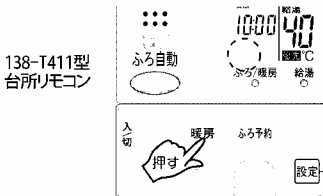


放熱器の停止

台所リモコンの暖房ボタンを押します。

放熱器のバルブを閉じます。

浴室リモコンのふろ/暖房加熱表示^④と
台所リモコンの暖房表示および
ふろ/暖房加熱ランプが消灯します。



※運転スイッチが「切」の場合でも暖房表示されます。

- リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく暖房運転できます。
- 浴室リモコンのふろ/暖房加熱表示^④や台所リモコンのふろ/暖房加熱ランプは、リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく、放熱器の運転状態により点灯および消灯をします。
- 放熱器に運転スイッチがない場合は、暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用ください。
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器の取扱説明書をご覧ください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 給湯や追いだき使用中に暖房運転をすると、暖房能力が低下する場合がありますが、故障ではありません。

■浴室予備暖房について

浴室予備暖房ボタンがついているリモコンで利用できる機能です。

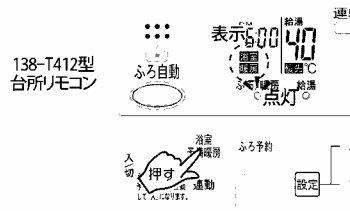
台所から、浴室暖房乾燥機の運転「入」/「切」ができます。

■浴室予備暖房スイッチ付き台所リモコンでの運転/停止

浴室暖房乾燥機の運転

台所リモコンの
浴室予備暖房ボタンを押します。

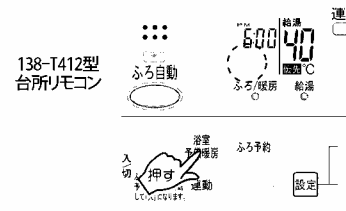
浴室リモコンのふろ/暖房加熱表示^④と
台所リモコンの浴室・暖房表示および
ふろ/暖房加熱ランプが点灯します。
しばらくすると、浴室暖房乾燥機が動き
はじめます。



浴室暖房乾燥機の停止

台所リモコンの
浴室予備暖房ボタンを押します。

浴室リモコンの給ふろ/暖房加熱表示^④と
台所リモコンの浴室・暖房表示および
ふろ/暖房加熱ランプが消灯します。
浴室暖房乾燥機の運転が停止します。



※運転スイッチが「切」の場合でも浴室・暖房表示されます。

※電源投入時、機器が浴室暖房乾燥機の確認をするまで浴室予備暖房ボタンを受け付けない場合があります。

- リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく浴室予備暖房運転できます。
- 浴室リモコンのふろ/暖房加熱表示^④や台所リモコンのふろ/暖房加熱ランプは、リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく、浴室暖房乾燥機の運転状態により点灯および消灯をします。
- 浴室暖房乾燥機の温度調節・運転時間等については、浴室暖房乾燥機の取扱説明書に従ってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 浴室暖房乾燥機付属のリモコンで暖房（浴室予備暖房）運転を行っているときに、138-T412型の台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押すと運転が停止します。
- 浴室暖房乾燥機で暖房（浴室予備暖房）以外の運転を行っているときに、138-T412型の台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押すと、暖房（浴室予備暖房）運転に切り替わりますので注意してください。
- 給湯や追いだき使用中に浴室予備暖房運転をすると、暖房能力が低下する場合がありますが、故障ではありません。

暖房運転をするには

■運転について

運動ボタンがついているリモコンで利用できる機能です。

ふろ自動運転と浴室予備暖房運転を行います。

運転スイッチ「入」を確認し

台所リモコンの運動ボタンを押します。

ふろ自動運転が赤で点灯します。

画面に浴室・暖房・運動表示が表示され

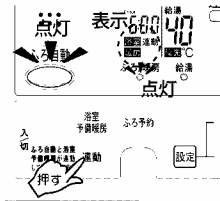
ふろ/暖房加熱ランプが点灯します。

音声ガイドが流れます。

“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか”

ふろ自動運転と浴室暖房乾燥機の運転が始まります。

138-T412型
台所リモコン



運転中に運転を停止させるには

・浴室暖房運転とふろ自動運転を停止→運動ボタンを押します。ふろ自動ランプが消灯、浴室・暖房・運動表示が消えます。

一度、暖房静音をセットしておけば、運転「切」の状態でも、毎回暖房静音運転になります。ただし、停電や電源プラグを抜くなどして一度通電が停止したときは、再びセットが必要です。

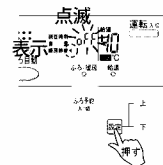
・浴室暖房運転のみを停止→浴室予備暖房ボタンを押します。浴室・暖房・運動表示が消えます。

■暖房静音について

暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。一度、暖房静音をセットしておけば、運転「切」の状態でも、毎回暖房静音運転になります。ただし、停電や電源プラグを抜くなどして一度通電が停止したときは、再びセットが必要です。

■暖房静音の設定/解除 工場出荷時にはOFFに設定されています。

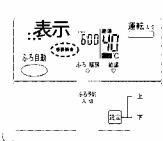
暖房静音の設定



設定ボタンを3回押し、**点滅**が暖房静音の右側に表示され「OFF」表示が点滅していることを確認します。

音声ガイドが流れます。

“静音です 上下ボタンで入力してください”

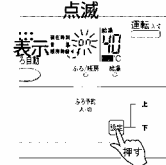


△または▽ボタンで「ON」表示を選択後、しばらく待つと確定となります。

音声ガイドが流れます。

“静音、セットされました”

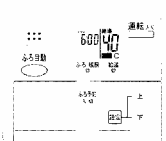
暖房静音の解除



設定ボタンを3回押し、**点滅**が暖房静音の右側に表示され「ON」表示が点滅していることを確認します。

音声ガイドが流れます。

“静音です 上下ボタンで入力してください”



△または▽ボタンで「OFF」表示を選択後、しばらく待つと暖房静音表示が消え解除となります。

音声ガイドが流れます。

“静音、解除されました”

※運転スイッチが「切」の場合でも暖房静音表示されます。



●リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく暖房静音の設定ができます。

●暖房静音運転中に追いつき運転やふろ自動運転を行うと、暖房運転音が静かにならない場合がありますが異常ではありません。

冬期の凍結予防をするには

給湯・ふろ

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき

この機器には、気温が下がってくると自動的に浴槽の水（湯）を循環して機器内や追いだし配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。そのため外気温-15℃程度までは、機器のブレーカーを「入」の状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなとき（外気温-15℃以下）は、給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしてください。

●自動凍結予防装置はブレーカーが「切」の状態では作動しません。絶対に、ブレーカーを「切」にしないでください。

●機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなどの措置をしてください。

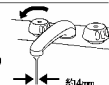
●凍結予防装置で凍結予防をしているときは、浴槽の残り湯を捨てないで、そのままにしておいてください。

●次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。2 浴室の給湯栓を開き、1分間に400cc（牛乳びん2本くらい）の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分後にもう一度流量を確認してください。



●通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしています。凍結予防の場合は問題ありません。（→P. 5 参照）

●給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。

暖房

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき

この機器には、気温が下がってくると自動的に暖房タンクの水（湯）を循環して暖房運転し、暖房回路内の水を暖め凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。通常は機器および放熱器のブレーカーを「入」または電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にし、熱媒元栓を開いておけば凍結予防できます。凍結予防装置は運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなとき（外気温-15℃以下）は、不凍液による方法で凍結予防をしてください。

●方法は放熱器によって異なります。

●電源プラグがコンセントから抜けていたり、ブレーカーが「切」の状態では作動しませんのでご注意ください。

●この方法では、機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、必ず保温材を巻くなどの措置をしてください。

●凍結予防装置が作動している間や固着防止のため熱媒弁が開閉（24時間に1回）している間は、機器を使用しなくても熱媒使用料金が発生します。

■不凍液による方法

●寒冷地では不凍液を使用してください。

●暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。

●不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。

長く使いたげのために

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは、給湯栓を開けても水がでてきません。
解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- 1 熱媒元栓・給水元栓を閉じます。
配管が破裂していた場合の水漏れを防止する目的です。
- 2 リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- 3 ときどき、給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれれば使用できます。給水元栓を開け、機器および配管から水漏れがないことを確認してください。熱媒元栓を開けます。
- 4 リモコンの運転スイッチを「入」にします。

- お願い**
- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額な修理費（有料）がかかる場合があります。
 - 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破裂することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなどして、水漏れしていないことを確認してください。
 - 機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理費用はお客様の負担となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月1回程度）

次の4つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 運転中に機器から異常音が聞こえますか？
- 3 機器の外観に異常は見えますか？
- 4 浴槽に循環口フィルターがついていますか？

■お手入れのしかた（月1回程度）

（機器本体およびリモコンのお手入れ）

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。

警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

！ご注意ください



分解禁止

- 機器本体のお手入れは、熱媒元栓を閉じ、プレーカーを「切」にし、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■定期点検のおすすめ（有料）

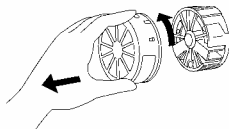
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。

■循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくすなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

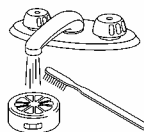
（循環口フィルターの外し方）

循環口フィルターを左に回して手前に引きます。



（循環口フィルターを掃除する）

歯ブラシなどで洗います。

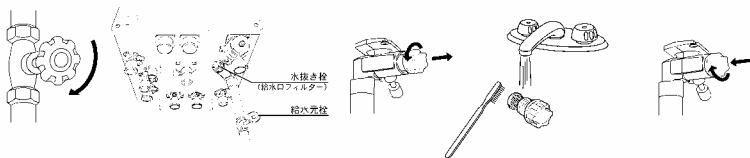


掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築の場合）

△注意 ●熱媒配管に触れない。やけどのおそれがあります。



- 1 給水元栓を閉じる。
- 2 給水接続口にある水抜き栓を外す。
- 3 歯ブラシなどで洗う。
- 4 元のように取り付ける。

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は熱媒元栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に動作していることを確認してください。万一、異常な音を感じられたときは、使用を中止し、熱媒元栓を閉じてお買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けでご使用ください。循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

長お使いいただくために

故障かな?と思ったら

こんなとき

ここを調べてください

リモコンの画面に 表示が出ない	省電力モード中ではありませんか (→24ページ) 分電盤のスイッチが「入」になっていますか (→10ページ) 停電していませんか (→5ページ)
アラーム番号「252」「542」が 点滅し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか (→10ページ) 断水していませんか おふろの排水栓はしっかりとまっていますか (→14ページ)
給湯加熱表示が点灯しない (台所リモコンは、給湯加熱ランプ が点灯しない) お湯が出ない	熱媒元栓が全開になっていますか (→10ページ) 給水元栓が全開になっていますか (→10ページ) 断水していませんか 給湯栓が十分開いていますか (→12ページ) 給水口フィルターがつまっていますか (→30ページ)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→12ページ) 温度調節は適切ですか (→12ページ) 混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温 のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃ にセットしてください
ふろ/暖房加熱表示が点灯しない (台所リモコンは、ふろ/暖房加熱ラ ンプが点灯しない)	熱媒元栓が全開になっていますか (→10ページ) 浴槽に水が入っていますか
おふろ加熱中に停止した	熱媒元栓が全開になっていますか (→10ページ)
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度のセットは適切ですか (→16ページ)
浴槽の水が少ない(多い)	ふろ水位のセットは適切ですか (→17ページ)
暖房がきかない(ききが悪い)	熱媒元栓が全開になっていますか (→10ページ) 放熱器の温度設定は適切ですか 床暖房は暖まるまでに時間がかかる場合があります

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

■こんな時は故障ではありません

現象

点検項目

給湯栓を絞るすぎて水になった	この機器は通水量が約3.5ℓ/分以下になったときには加熱されません。
夏期水温が高いとき 低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする と、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量 を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開いてもすぐに お湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出て くるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が 変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ふろ自動」 「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたとき お湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。 すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで 急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象 です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは 違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯ア力が残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青 く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
ふろ自動スイッチを押した後 お湯入れがとどきで停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
おふろを使用していないのに浴 槽の循環口よりお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水したあと、ふろ配管内の残り湯を流し出 す機能が働くと、循環口からお湯(水)が出ます。
追いただき時間が長くなる	給湯や暖房を同時に使用した場合、追いだきの能力が落ち たり、一時的に待機する場合があります。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を校知するためおよそ15～30分間隔で 回ります。
運転終了後もしばらく ポンプが回る	「ぬるく」「ふろ自動」「追いただき」「たし湯」運転終了後、かくは んのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかりと閉じていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。 圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
暖房ポンプがときどき 自動的に回る	エアー抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための 機能ですので故障ではありません。
床暖房を使用していないのに 床が暖まることある	暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとに ポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末(浴 室暖房等)を使用していると、床の温度が一時的に若干上 昇する可能性があります。
冬期など寒いとき追いだきの ポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
時計表示が合っていない	30分以上の停電後、再通電すると表示画面がAM1:00になり ます。なお、ふろ水位・温度設定・予約時刻・保温時間等も初 期状態に戻りますので再設定してください。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店か
メンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

長く使いたくため

故障かな?と思ったら

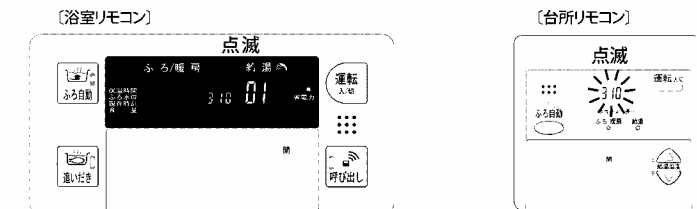
- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が表示、点滅したときは、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際には、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内 容	処置方法	使用状態	アラーム番号	内 容	処置方法	使用状態
002	熱媒温度低異常	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯	432	水位センサ異常	修理を依頼する	ふろ自動
032	注湯時間異常	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯	433	暖房水タンク水位検出異常	修理を依頼する	ふろ自動・追いだし・給湯
043	湯給水異常	修理を依頼する ※	ふろ自動・追いだし・給湯	501	能力不足	修理を依頼する	燃焼・追いだし・給湯
052	浴槽残り湯有	修理を依頼する ※	ふろ自動	542	切替弁異常	修理を依頼する	追いだし
137	暖房回路異常(少量)	修理を依頼する	ふろ自動・追いだし・給湯	543	暖房回路水異常(多量)	修理を依頼する	ふろ自動・追いだし・給湯
252	ふろ水流S異常	修理を依頼する	ふろ自動・追いだし	562	注湯電圧異常	修理を依頼する	ふろ自動・たし湯
310	熱媒入サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯	591	給湯熱交換器異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯
311	出湯温サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯	623	ブリ・ボスト異常	修理を依頼する	燃焼・追いだし・給湯
312	ふろサーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	ふろ自動・追いだし・給湯	651	給湯熱媒制御弁異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯
313	暖房サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯	653	暖房熱媒制御弁異常	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯
321	入水温サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯	661	ミキシング弁異常	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯
323	湯給弁サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯	663	低圧調整弁異常	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯
331	混合温サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯	700	電圧基盤故障	修理を依頼する	燃焼
333	暖房低圧サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯	740	台所リモコン通信異常	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯
341	給湯熱交換器サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯	750	浴室リモコン通信異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯
343	浴室熱交換器サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯	760	インテリジェントバーン温度異常	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯
422	注湯電圧異常	修理を依頼する	燃焼・ふろ自動・たし湯				

リセット操作 運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に、補足の番号が出ることがあります。ご連絡のときは、アラーム番号とあわせてお知らせください。

給湯側のアラーム、異常停止、警告表示の場合は給湯温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。その他のアラーム、異常停止、警告表示の場合はふろ温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。



■こんな場合には安全装置が働きます

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を防止します。……………凍結予防装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……………漏電安全装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。……………過圧防止安全装置

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 31～33ページの「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)品名(例) 147-T001型
※品名ラベルをご覧ください。(→P.2参照)
 - (3)現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4)訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

- このヒートポンプ熱交換ユニットには保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。
- 長期間使用しない場合
 - お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造切切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	目	内容
品名	147-T001型	147-T002型
型式名	HNU-33FKD	HNU-24FKD
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅304×奥行270×高さ679/33	
種類	給湯方式	先止め式
	暖房方式	温水循環方式
設置	方式	屋内設置形 パイプシャフト設置式標準設置形
使用熱媒差圧	100~300kPa(1.0~3.0kgf/cm ²)	
使用水圧	100~400kPa(1.0~4.0kgf/cm ²)	
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)	
給湯	3.5ℓ/分	
暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)	
ふろ	3.8ℓ/分	
消費電力	定格	230W
電気	凍結予防作動時	140W
接続	熱媒入・出	20A(R3/4オネジ)
	給水・給湯	20A(R3/4オネジ)
	暖房低溫往き	QF16ジョイント
	暖房高溫往き	QF16ジョイント
	暖房戻り	QF16ジョイント
	ふろ	QF16ジョイント
続	オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)
	電気	本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心
安全装置		過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導管保護装置(サージアブソーバ) 空だき防止装置(水量センサ・水位電極) 凍結予防ヒータ、ポンプ運転(凍結予防装置) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 電流ヒューズ(過電流防止装置)

〔能力表〕

品名	出湯能力(最大)ℓ/min		能力kW {kcal/h}		
	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	給湯	追いだき	暖房
147-T001型	32.0	20.0	58.1 {50,000}	9.3 {8,000}	14.0 {12,000}
147-T002型	24.0	15.0	41.8 {36,000}	9.3 {8,000}	14.0 {12,000}
147-T003型	16.0	10.0	32.6 {28,000}	9.3 {8,000}	11.6 {10,000}

- ③ 出湯能力は、水圧200kPa {2kgf/cm²} のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
 ④ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
 別添 大阪ガスのお問い合わせ先
 をご参照願います。

ヒーツ熱交換器ユニット

取扱説明書 保証書付



型番	型式名	号数
147-T001B 型	HNU-331FKD	33号
147-T002B 型	HNU-241FKD	24号
147-T003B 型	HNU-161FKD	16号

このたびはヒーツ熱交換器ユニットをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番をお知らせください。

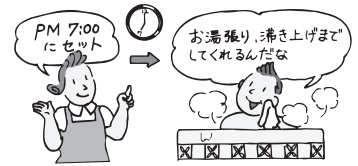
もくじ	ページ	
製品の特長	1	
安全に正しくお使いいただくために	1	
この取扱説明書の表示について	1	
機器本体の表示について	2	
必ずお守りください	2	
各部の名称とはたらき	7	
ご利用前の準備	11	
機器の準備	11	
現在時刻を合わせる	12	
お湯を使うには	13	お湯
お湯を使用する	13	
優先を切り替える	16	
お風呂を沸かす《ふろ自動運転》	17	
お風呂を沸かす	17	
お風呂を沸かし直す	18	
お風呂を沸かす《予約運転》	19	
予約でお風呂を沸かす	19	
ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには	21	基本の使い方
お風呂沸かしの設定を変更する	21	ふろ
お風呂のお湯を熱くする	23	
追いだきをする	23	
お風呂のお湯をぬるくする	24	
たし水をする	24	
お風呂のお湯をふやす	25	
たし湯をする	25	
暖房運転をするには	26	暖房
暖房端末機器を運転する	26	
暖房運転をする	27	
暖房時の運転音を小さくする	28	
キッチンタイマー	29	便利な使い方
キッチンタイマーを使う	29	
知っている便利な機能	30	
ふろ配管内の残り湯を流し出す(配管クリーン)	30	
設定の変更をする	31	
音量を変更する	31	
省電力を解除する	32	
冬期の凍結予防をするには	33	
凍結してしまったとき	35	
点検のポイント・お手入れのしかた	36	長くお使いいただくために
点検のポイント(月1回程度)	36	
お手入れのしかた(月1回程度)	36	
定期点検のおすすめ(有料)	36	
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	37	
給水口フィルターの掃除	37	
点検・お手入れ後の確認	37	
故障かな?と思ったら	38	
アラーム表示について	40	
アフターサービスについて	42	
仕様一覧	43	
保証書	裏表紙	

製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- ◆お風呂もシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。
- ◆ふろ自動ボタンを押すだけの簡単操作でお風呂が沸かせます。
- ◆予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。



快適です!

- ◆お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。
また、お風呂の水位が下がると、たし湯もします。
いつも快適なお風呂です。
- ◆ふろ配管をきれいにします。
ふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。
以下の条件がそろったときに浴槽のお湯(水)を排水すると、自動的にふろ配管内の残り湯を、きれいなお湯(リモコンの運転ボタンが「切」の場合は水)約6リットルで流して浴槽の循環口から排出します。



条件

1. ふろ自動運転でお風呂沸かしをした。
2. 排水前の残り湯が循環口より上にある。
3. リモコンのふろ自動ランプが消えている。
4. 排水中に給湯などを使用していない。

※ふろ配管内の残り湯を流しだす際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。

環境にもやさしい!

- ◆別売のリモコンは待機時の消費電力を低減するため、使用していないときに画面の表示を消す、省電力機能付きです。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。



給湯温度40℃です

リモコンから流れる音声を示しています。(音声は例です)

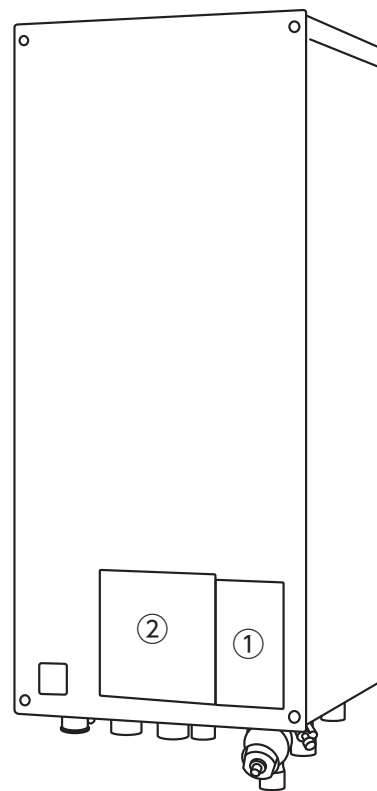
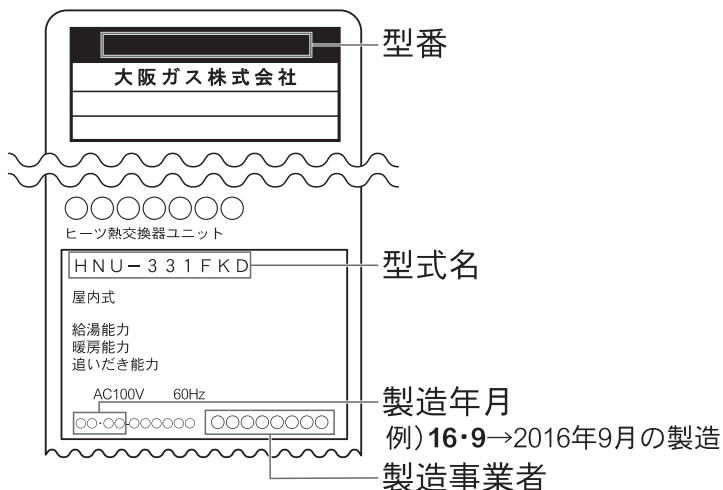
安全に正しくお使いいただくために

■機器本体の表示について

製品の型番および製品タイプをご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

①銘板

型番・型式名・製造年月・製造事業者などを表示しています。



②使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

必ずお守りください

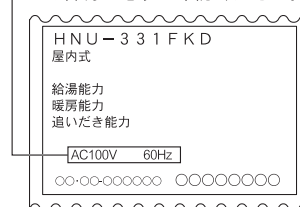
安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)で機器を使用する。電源が一致しないと、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P.42)

- この機器はAC100V 60Hz用です。この部分を必ずご確認ください。



必ず行う

屋外設置の禁止

- この機器は屋内設置形なので屋外に設置しない。
雨水の浸入などで故障の原因になります。



禁止

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

必ずお守りください

警告

改造・分解禁止

- 絶対にお客さまご自身で、改造・分解・修理は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因になります。



分解禁止

火災予防のために必ず守ること

- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジン・スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
 - ・お湯を再使用するとき
 - ・給湯温度が高いとき
 - ・給水圧が下がったとき
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき
 - ・機器が故障したとき
- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。



必ず行う

- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、**運転**ボタンを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。
- 浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない。

怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



禁止



高温注意

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
 - ①給湯栓を閉める。
 - ②リモコンの**運転**ボタンを「切」にする。
 - ③熱媒元栓・給水元栓を閉める。

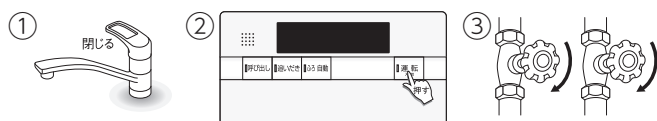


必ず行う

- 使用中に異常音・異常な温度を感じた場合。
 - ①ただちに使用を中止する。
 - ②お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへ連絡する。



必ず行う



機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体や接続部などに乗らない。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。



禁止

ソーラー機器接続禁止

- ソーラー機器(太陽熱温水器)とは絶対に接続しない。ソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



禁止

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



アースを必ず接続する

ぬれた手でブレーカーを触らない

- ぬれた手でブレーカーの「入」/「切」をしたり、触ったりしない。感電のおそれがあります。



感電注意



ぬれ手禁止

必ずお守りください

⚠ 注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし、暖房(乾燥)以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

機器本体の高温部に触らない

- 熱媒配管に触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任になります。



必ず行う

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけない。
台所リモコンは防水タイプではありませんので水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てない。故障の原因になります。



禁止

空だき防止

- リモコンの追いだきボタンを押すときは、必ず浴槽の循環口上部より5cm以上湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因になる場合があります。



必ず行う

お子さまには十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。
 - 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。
- 思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。



禁止

お願い

入浴時の注意

- 循環口フィルターを外して、お子さまがおもちゃなどを入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器などが腐食する原因になりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分などを確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- 風呂用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、循環口フィルターが詰まったり、追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 葉草やゆず入り入浴剤の場合は、葉草などが循環口フィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

リモコンの扱いについて

- リモコンはお子さまがいたずらしないよう注意してください。

ブレーカーを「切」にしない

- お手入れを行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、ブレーカーを「切」にしないでください。

長期間使用しない場合

- 万一の熱媒漏れを防止するため、熱媒元栓を閉めておいてください。

飲用や調理用にお使いのときは

- 機器内に長時間たった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲用や調理用には使用しないで雑用水としてお使いください。

通水使用の禁止

- リモコンの運転ボタンを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防の場合を除く)

必ずお守りください

お願い

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意してブレーカーを「切」にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理になります。

停電時またはブレーカーを「切」にしたとき

- この機器は、停電時やブレーカーを「切」にしたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 通電復帰後は、リモコンの現在時刻設定(→P.12)を行い、給湯温度などの表示を確認してからご使用ください。
- 自動でお風呂を沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止します。通電復帰後、■お風呂を沸かし直す(→P.18)の操作を行ってください。
- 通電復帰後、自動でお風呂沸かしをするといつもよりお湯張り時間が長くなる場合があります。

断水するとき

- 給湯栓を閉め、リモコンの**運転**ボタンを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

日常の点検・お手入れ

- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)などでふき取ってください。
- オーバーフロー配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミなどでふさがれている場合は掃除を行ってください。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のために空間を確保してください。

塩ビ管の使用について

- 給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、オーバーフロー排出配管は除きます)

必ずお守りください

床暖房についての注意



警告

やけどに注意

- 床暖房の上で長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
 - ・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



禁止

火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ライターなどを置かない。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、スプレー缶などが爆発するおそれがあります。



禁止



注意

床についての注意

床に水などをこぼさない

- 床面に水・薬品・しょうゆ・ペットの排泄物などがこぼれたら、速やかにふき取ってください。常時水の飛び散る台所や洗面所周辺は、ぬれたまま長時間放置しないでください。床仕上げ材・床暖房パネルの変色、はがれ、劣化など、品質を損なう原因になります。



禁止

床暖房の上に、鋭利なもの(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしない

- 水漏れの原因になります。



禁止

床暖房の上に、調度品・家具などを直接置かない

- 家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。床面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないようにしてください。



禁止

重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはパッドなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの原因になります。



禁止

キャスター付きの椅子や家具、車椅子を使用しない

- フローリング表面の傷やへこみ、はがれ、床鳴りなどの原因になります。



禁止

重量物を移動させるときは引きずらない

- 床仕上げ材表面の傷やへこみ、はがれの原因になります。椅子の脚など床に接触する部分には、フェルトなどをつけてください。



禁止

床暖房の上にエアコンやテレビなどのリモコンを長時間置かない

- リモコンの故障の原因になります。



禁止

床暖房は電気カーペットやこたつなどとの併用はしない 敷物は敷かない

- 性能が発揮できなかつたり、熱がこもって床仕上げ材の割れ・そり・すき間・変形・変色などの原因になります。



禁止

床暖房を他の目的に使用しない

- 特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。



禁止

床仕上げ材のお手入れは、床仕上げ材メーカーの取り扱い方法に従う

床仕上げ材の張替えは、床仕上げ材メーカーの指定工法で施工する

- 詳しくは床仕上げ材メーカーへお問い合わせください。



必ず行う

床下の防霉・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する

- 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。



必ず行う

閉め切ったお部屋で長時間使用しない

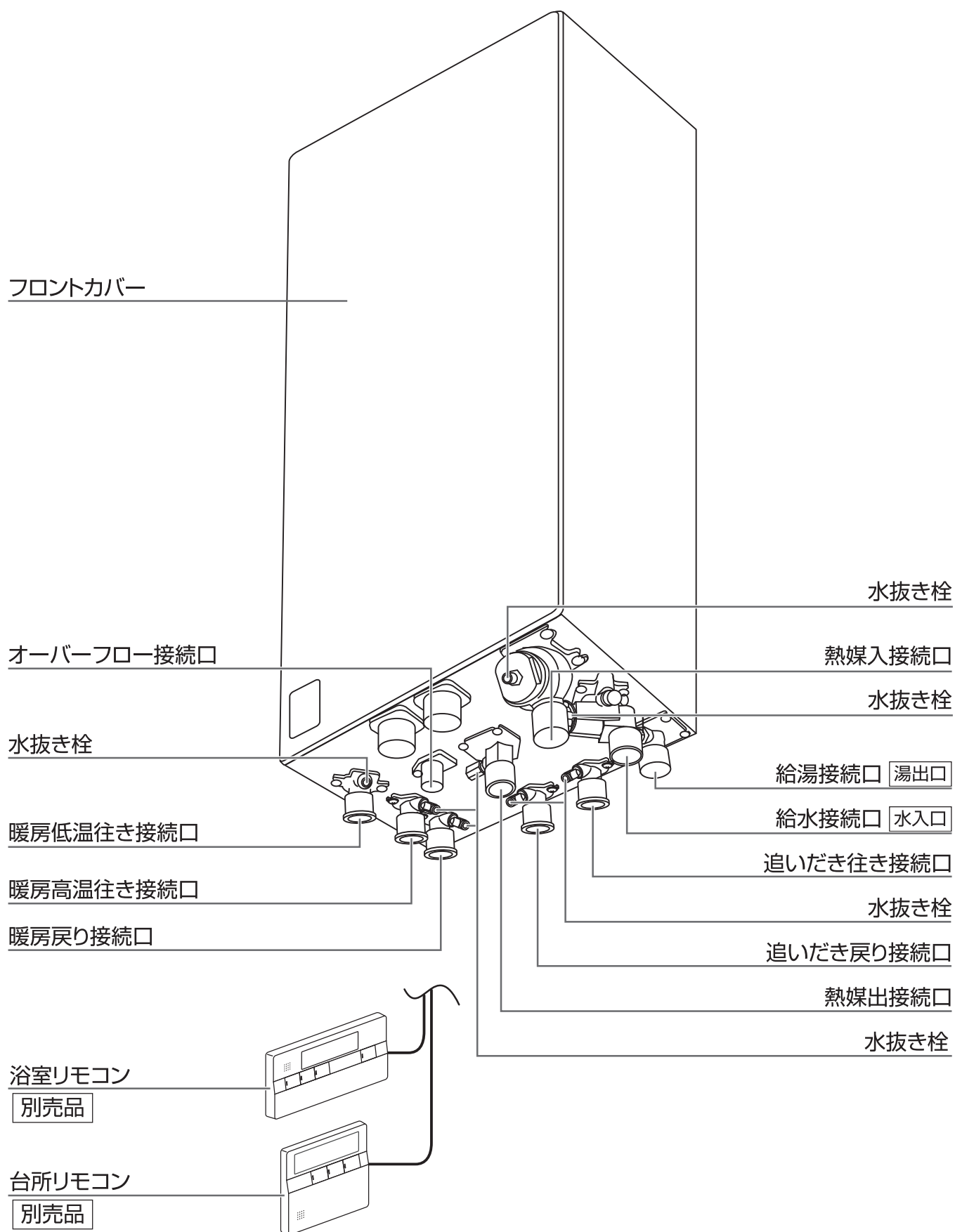
- 床暖房設置後しばらくの間や、閉め切ったお部屋で長時間使用するとごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして定期的に換気をしてください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスにご相談ください。



必ず行う

各部の名称とはたらき

■機器本体



各部の名称とはたらき

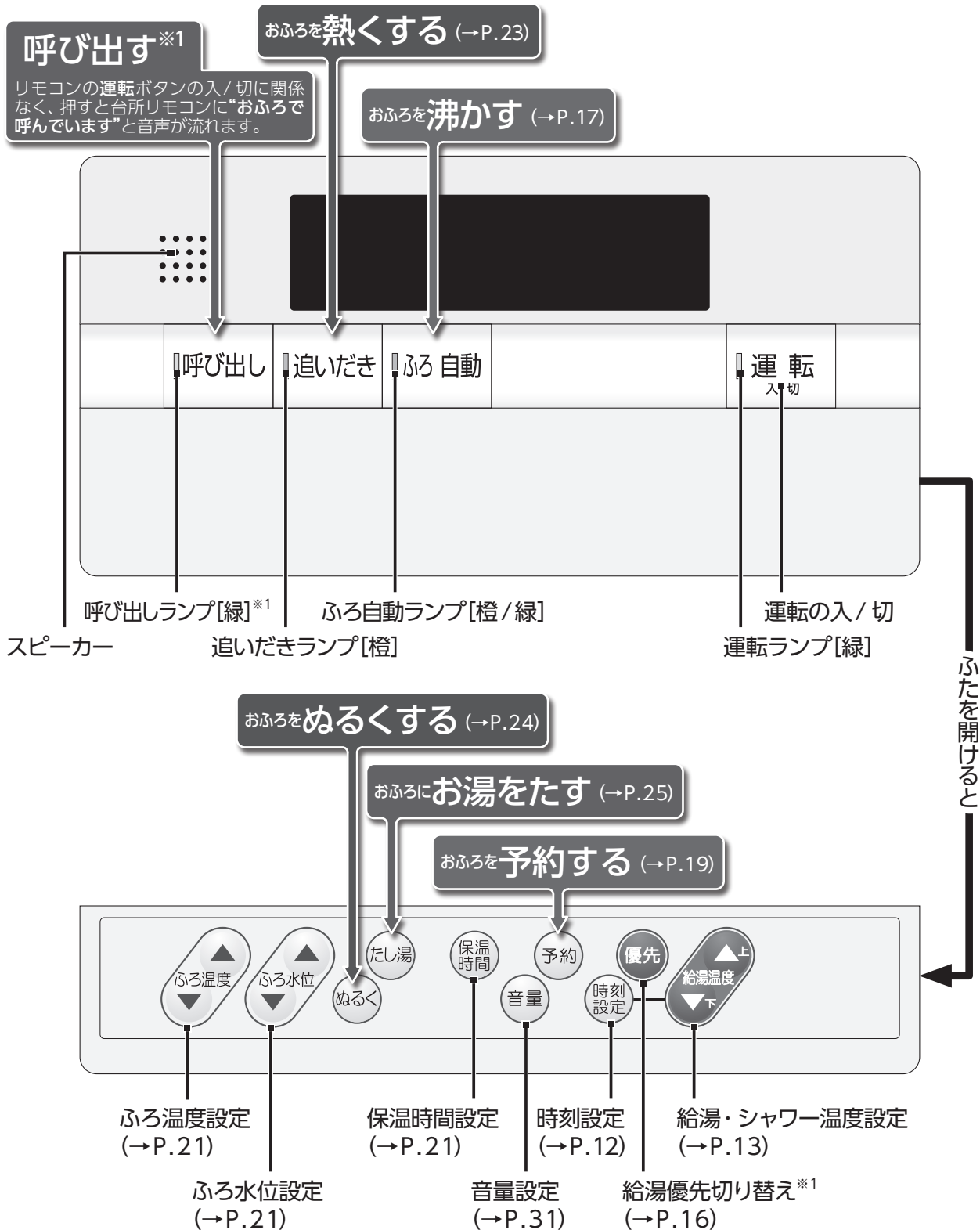
■浴室リモコン

138-T430型・T431型：台所リモコンセット品

138-T432型：浴室リモコン単品

浴室に設置して使用します。給湯温度の設定や給湯優先の切り替え、おふろ機能に関する操作を行うことができます。操作をするとき以外はふたを閉めてご使用ください。

※1 138-T432型には呼び出しボタン・優先ボタンおよび機能がありません。

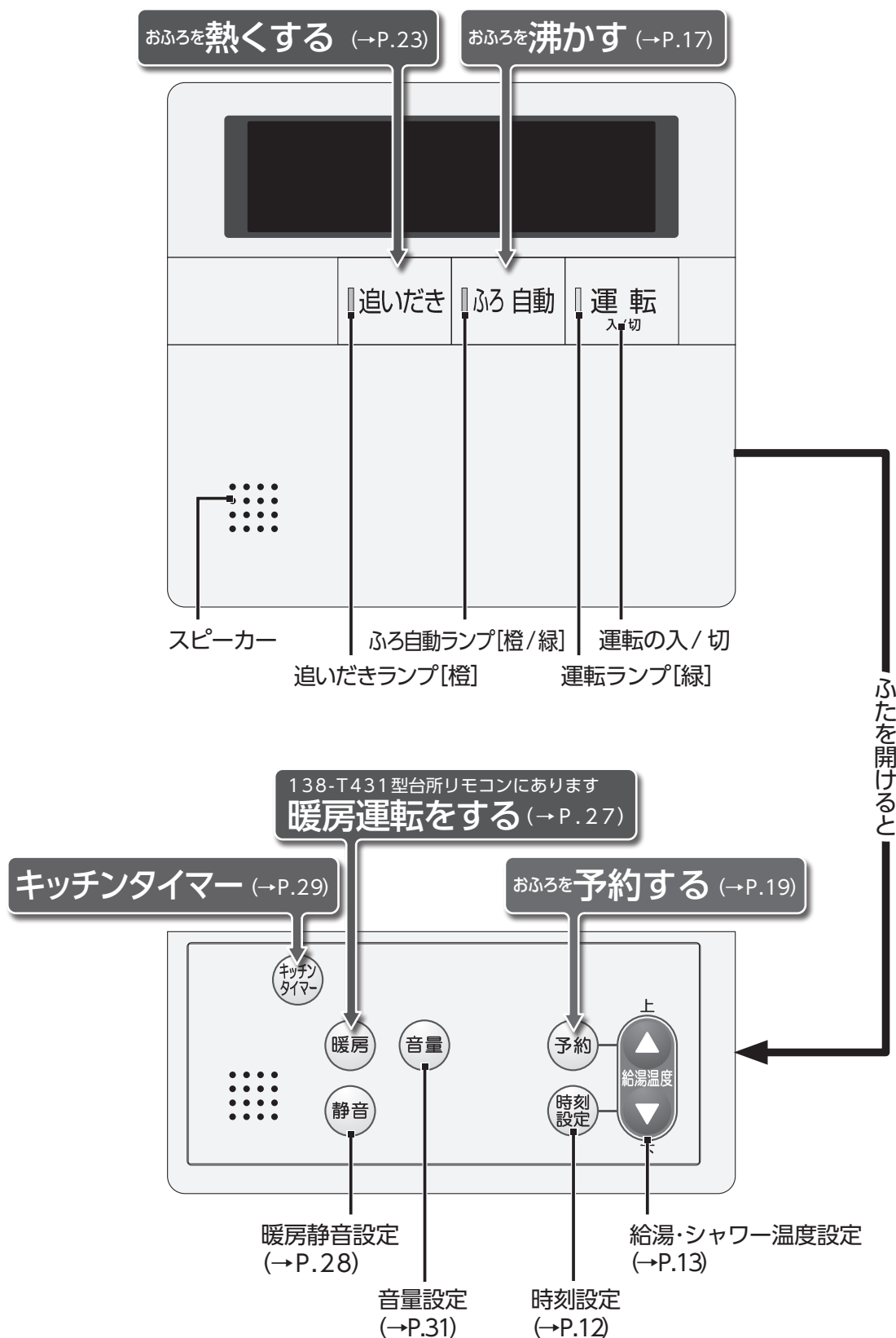


各部の名称とはたらき

■台所リモコン

138-T430型：暖房ボタンなし/138-T431型：暖房ボタン付

台所に設置して使用します。給湯温度の設定やふろ自動・追いだき・予約運転・暖房静音・暖房運転・キッチンタイマーなどの操作を行うことができます。操作をするとき以外はふたを閉めてご使用ください。



各部の名称とはたらき

■表示画面

図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

[浴室リモコン]



トップ画面

運転ボタンを「入」にすると表示する画面です。ふろ温度・現在時刻・給湯温度などを表示します。

[台所リモコン]



トップ画面

運転ボタンを「入」にすると表示する画面です。
現在時刻・給湯温度などを表示します。

1 優先表示

優先が表示されているリモコンで、給湯温度の変更ができます。

2 給湯温度表示

給湯・シャワーの設定温度を表示します。

3 現在時刻表示

現在時刻を表示します。

アラーム表示

不具合時のアラームを表示します。

4 ふろ水位表示

ふろ水位を表示します。

5 保温表示

保温時間の設定時や保温中に表示します。

6 ふろ温度表示

お風呂のお湯の設定温度を表示します。

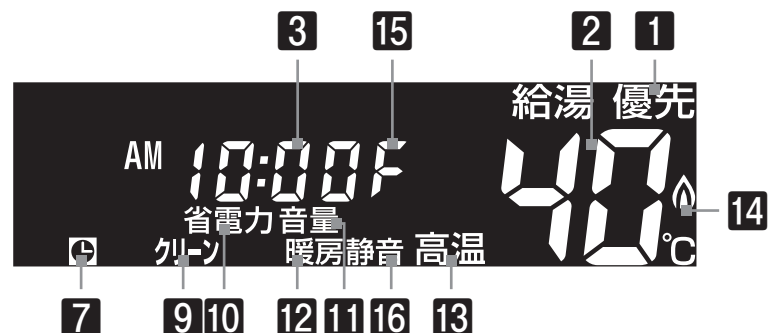
凍結予防運転中には、F(凍結予防表示)を点滅で表示します。



7 ふろ予約表示

ふろ予約中に表示します。

8	追いだき・凍結予防運転時に表示します。
	□ □ → □□ □□ → □□□□ → 消灯 → □ □
	ふろ自動・たし湯・ぬるく・配管クリーン運転時に表示します。
	□ → □□ → □□□ → 消灯 → □



9 クリーン表示

配管クリーン動作中に表示します。

10 省電力表示

省電力に設定されていると表示します。

11 音量表示

音量の変更中に表示します。

12 暖房表示

暖房運転中、台所リモコンに表示します。

13 高温表示

給湯温度が50℃以上のとき表示します。

14 加熱表示

機器の加熱中に表示します。

15 凍結予防表示【台所リモコン】

凍結予防運転中にFを点滅で表示します。

16 静音表示

暖房静音に設定されていると表示します。

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検・確認を行う

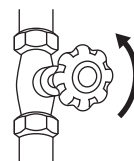
■点検のポイント(→P.36)をご覧ください。

2 暖房元バルブを全開にする

機器の下部にあります。

3 給水元栓を全開にする

機器の下部にあります。



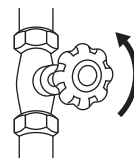
4 給湯栓を開ける

水が出ることを確認したら閉めます。



5 熱媒元栓を全開にする

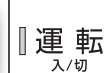
機器の側部または機器の下部にあります。



6 分電盤のブレーカーを「入」にする




7 運転入/切を「入」にする



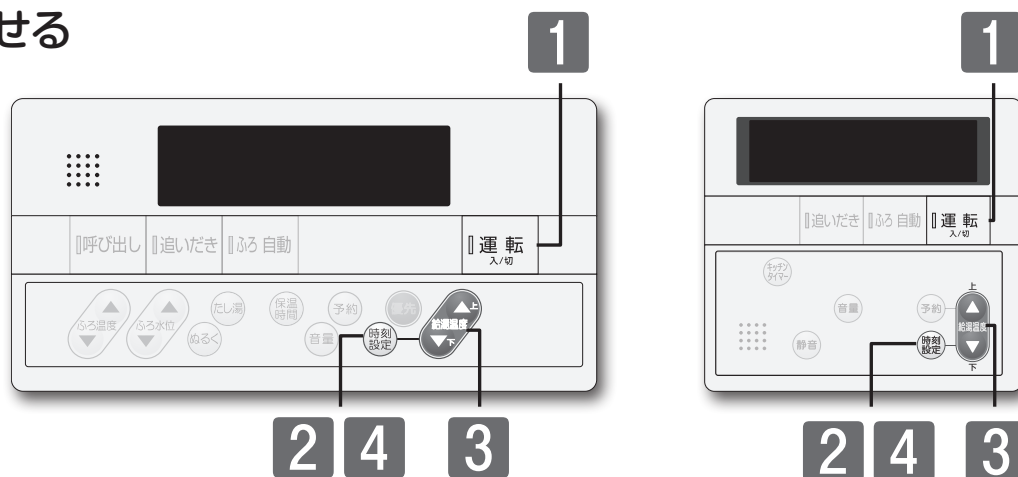
現在時刻をセットしてください



- 電源投入直後は、リモコンの画面上にが表示されます。表示が消えるまで、約40秒かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから**運転**ボタンを「入」にしてください。

ご利用前の準備

■現在時刻を合わせる



●現在時刻の設定がされていない場合には、予約を利用できません。予約ボタンを押すと、“ピッピッピッ”と受け付け禁止音が鳴ります。必ず現在時刻を設定してください。

いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転 入/切 を「入」にする



現在時刻をセットしてください

2 ふたを開け 時刻設定 を押す



現在時刻です
上下ボタンで入力してください

3 給湯温度 で時刻を合わせる



※給湯温度ボタンは1回押すと1分刻み。
押し続けると10分刻み。さらに押し続けると
1時間刻みで進み(戻り)ます。

！設定時にはAM(午前)/PM(午後)に
注意してください。

▲は時刻が進みます。

▼は時刻が戻ります。

時刻合わせは、時刻表示が点滅し
ている間に、設定してください。


4 時刻設定 を押す



セットされました

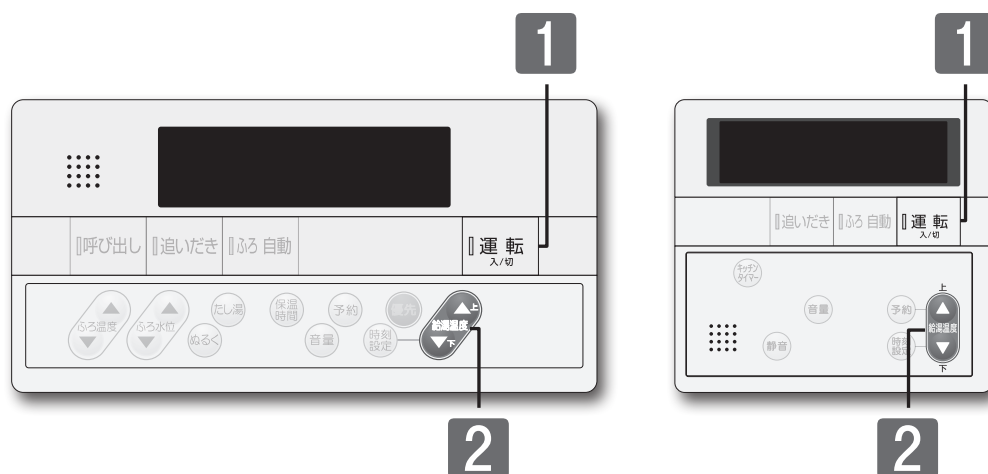
※時刻設定ボタンを押さなくても、約10
秒押し操作がないと設定を完了します。
このとき音声ガイドは流れません。



- 電源投入直後や停電からの通電復帰後は、リモコンの画面上にが表示されます。表示が消えるまで、約40秒かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから運転ボタンを「入」にしてください。
- 出荷時の時刻表示は「-:-:-」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので、通電復帰後時刻の再設定をしてください。
- 時刻の設定がされていない場合には、運転ボタンを「入」にするたびに“現在時刻をセットしてください”と、音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50℃以上に設定していた場合には“給湯温度〇℃です 熱い温度にセットされました 注意してください”と、音声ガイドが流れます。
- 設定時に上下ボタンを押さないまま約20秒経過すると時刻合わせを終了します。このとき音声ガイドは流れません。
- 時刻の設定終了後は、運転ボタンを「入」にするたび、給湯温度を音声ガイドがお知らせします。

お湯を使うには

■お湯を使用する



警告

- 給湯・シャワーなどを使うときは、リモコンに表示の給湯温度を確認し、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- 給湯・シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切り替え・**運転**ボタンを「切」にしない。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。特にシャワー使用時は、**必ず浴室リモコンを優先**(→P.16)にして、リモコンに表示の給湯温度を確認してから使用してください。

1

運転
入/切

を「入」にする



給湯温度40°Cです

2

ふたを開け



給湯温度で変更する



給湯温度42°Cにセットされました

- ▲は温度が上がります。
- ▼は温度下がります。

※給湯温度ボタンは1回ずつ押してください。押し続けても温度は変わりません。
※給湯温度が変更できない場合は、□リモコンの給湯温度が変更できないときは(→P.15)をご覧ください。

お湯を出す

給湯栓を開ける



お湯を出している間はすべてのリモコンに🔥を表示します。

お湯を止める

給湯栓を閉める



お湯を止めると、すべてのリモコンから🔥が消えます。

お湯を使うには

□給湯温度の目安

給湯温度の目安(単位:℃)

40:工場出荷時

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60
食器洗いなど	シャワー・給湯など						給湯など				高温		

※50℃以上に設定した場合には、リモコン画面に**高温**を表示し、警告音声流れます。



給湯温度、50℃です 熱い温度にセットされました 注意してください

！お知らせ

- リモコンに表示の給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温などにより必ずしも一致しません。リモコンに表示の給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏場など水温が高い場合、給湯温度の目安を“食器洗いなど”に設定してもリモコンに表示の給湯温度より高い湯温になる場合があります。必要に応じて水を混ぜ、湯温を確認してからお使いください。
- ふろ自動運転のお湯張り中・たし湯運転中は、リモコンの**給湯温度**ボタンを押すと“ピッピッピッ”と受け付け禁止音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
- ふろ自動運転のお湯張り中・たし湯運転中に給湯・シャワーを使用すると、設定したふろ温度で出湯されます。このときリモコンに表示の給湯温度は変わりません。設定したふろ温度が高いときに、給湯・シャワーを使用される場合はご注意ください。また、ふろ自動運転のお湯張りやたし湯運転が先に終了しても出湯中のお湯の温度は設定したふろ温度のままで、リモコンに表示の給湯温度には戻りません。リモコンに表示の給湯温度に戻すには給湯・シャワーを一旦止めてから再度出湯してください。

お願い

- 55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから設定してください。
- やけど対策上、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。



- 給湯使用中でも**優先**の表示があるリモコンでは温度の変更ができます。
- 給湯温度は次回変更するまで記憶していますが、60℃に設定したまま**運転**ボタンの「入」/「切」や停電などの通電復帰後は、やけどなどの危険防止のため、自動で55℃に設定されます。
- 省電力待機中(→P.32)に**給湯温度**ボタンを押すと、トップ画面を表示するとともに現在の給湯温度を音声ガイドでお知らせします。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー混合水栓をご使用の場合、混合水栓の機種や構造により、温度調節ハンドルの示す温度よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度より5～10℃高めにしてください。

お湯を使うには

□リモコンの給湯温度が変更できないときは

リモコンで給湯温度を変更するには、リモコンの画面に**優先**の表示が必要です。

給湯温度ボタンを操作しても給湯温度の変更ができない場合は、リモコンに**優先**を表示しているか確認してください。**優先**がない場合は□浴室リモコンに優先がないとき(→P.16)または□台所リモコンに優先がないとき(→P.16)をご覧ください。

優先とは

給湯温度の変更ができることを「優先」と呼び、給湯温度が変更できるリモコンには、**優先**を表示しています。

台所・浴室・洗面所など、機器からお湯を供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。

そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。

このような事故などを防ぐために、**優先**の表示があるリモコンのみが給湯温度を変えられるようになっています。

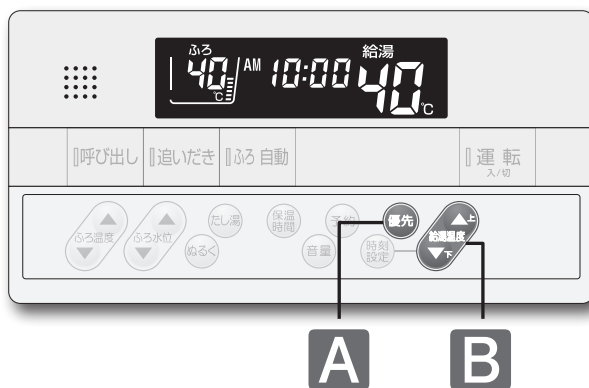
優先は、運転ボタンを「入」にしたリモコンに表示します。



- 台所リモコンで**優先**がないときに給湯温度ボタンを押すと“給湯温度、浴室優先です 運転ボタンを入れ直してください”と、音声ガイドが流れます。

お湯を使うには

■優先を切り替える



□浴室リモコンに優先がないとき AまたはBの方法で行う。

【浴室リモコンで行う】

A ふたを開け **優先** を押す



給湯温度、浴室優先です

浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**を表示します。

【浴室リモコンで行う】

B ふたを開け **給湯温度** を押す



給湯温度、浴室優先です

浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**を表示します。

□台所リモコンに優先がないとき CまたはAの方法で行う。

【台所リモコンで行う】

C **運転** を「切」にする

再度 **運転** を「入」にする



！ほかでお湯が使われていないことを確認のうえ、行ってください。

給湯温度、42°Cです

台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**を表示します。

【浴室リモコンで行う】

A ふたを開け **優先** を押す



給湯温度、台所優先です

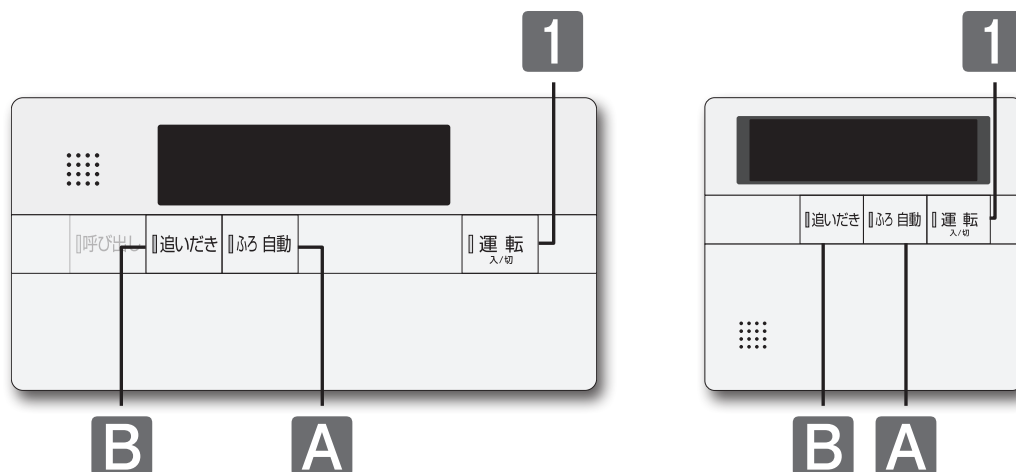
台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**が消えます。



- 給湯優先切り替え時には、55°Cより高い設定温度にはなりません。優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60°Cだった場合、自動的に55°Cに設定されます。
- 優先切り替え後の給湯温度が、50°C以上の場合には“給湯温度、〇°Cです 熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。

お風呂を沸かす《ふろ自動運転》

■お風呂を沸かす



警告

- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- お風呂の沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

まずは準備

◎ふろ温度・ふろ水位・保温時間は合っていますか？（変更は(→P.21)）

◎浴槽の排水栓をしてふたをする

1

運転
入/切

を「入」にする



給湯温度、40°Cです

A

ふろ自動

を押す



お湯張りを始めます
お風呂の栓はしましたか

ふろ自動ランプ[橙]が点灯、湯・火を表示します。

設定した水位に近くなると

もうすぐお風呂に入れます

お風呂が沸き上がると保温に入ります

保温時間内は設定したふろ温度を保つため定期的に沸き上げ、浴槽内のお湯が減ると設定したふろ水位までたし湯します。



お風呂が沸き上がると

お風呂が沸きました

ふろ自動ランプが[緑]に変わり、保温を表示し、湯・火は消えます。

保温時間が終了するとふろ自動ランプ[緑]と保温が消えます。

ふろ自動中止

ふろ自動

を押す



ふろ自動ランプが消えて、お風呂沸かしや保温を終了します。

おふろを沸かす《ふろ自動運転》

！お知らせ

- 以下の場合“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。
 1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
 2. 残り湯があってふろ自動運転を行った際、残り湯が設定したふろ温度に近いとき。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。
■ おふろを沸かし直す(→下記参照)をご覧ください、再度おふろを沸かし直してください。
- おふろのお湯(水)を抜くときは、ふろ自動ランプが消灯していることを確認してください。ふろ自動ランプが点灯しているときは、ふろ自動ボタンを押してふろ自動運転を終了してください。

メモ

- 台所リモコンのふろ自動運転開始の音声は“ふろ温度〇℃です”(設定したふろ温度)に続いて“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか”と流れます。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの加熱表示がついたり消えたりすることがあります。これはおふろの水位を確認する動作なので、異常ではありません。
- 給湯温度を50℃以上に設定している場合には、浴室リモコンの沸き上がりの音声ガイドが、“おふろが沸きました”から“給湯温度〇℃です 熱い温度にセットされました 注意してください”に変わります。
- 保温時には気温などにより、約15分～30分の間隔で自動的におふろ沸かしを行います。
- 保温中にふろ温度を高く変更しても、すぐには沸かし上げません。次回沸かし上げ時に、設定変更後の温度まで沸かし上げます。
- お湯張りを正確に行うため、電源投入2回目まではお湯張り時間がかかります。

■おふろを沸かし直す

沸かし直しをする場合は残り湯の量で沸かし方を選べます。

【残り湯が浴槽の循環口より下にある場合】

A **「ふろ 自動」** を押す



お湯張りを始めます
おふろの栓はしましたか

ふろ自動ランプ[橙]が点灯、 を表示します。

【残り湯が浴槽の循環口より上にある場合】

B **「追いだき」** を押す



おふろを沸かします

追いだきランプ[橙]が点灯、 を表示します。

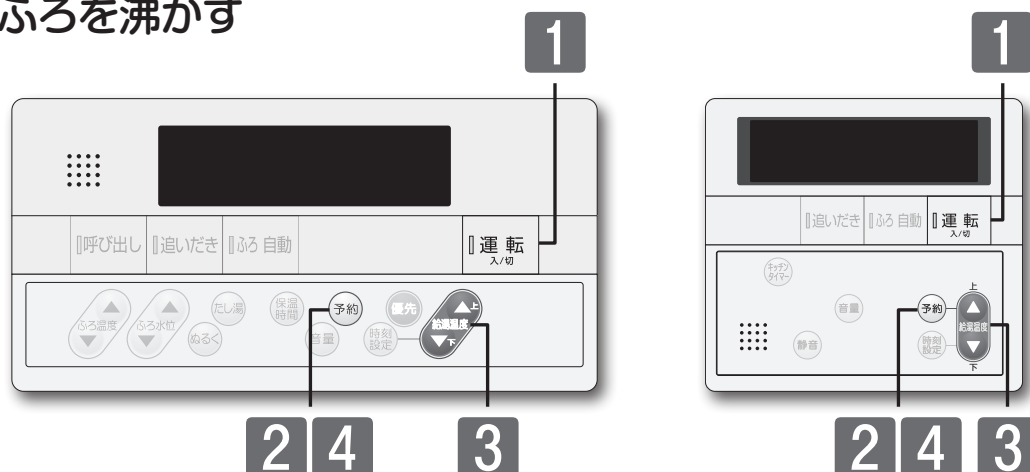
！お知らせ

おふろを沸かし直す際の水位について以下の点にご注意ください。

- ・おふろが沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが、残り湯の水位により設定したふろ水位と異なる場合があります。

お風呂を沸かす《予約運転》

■予約でお風呂を沸かす



- 予約の設定は、予約時刻の60分前までに行う。
- 予約運転ごとに毎回実施する。

まずは確認

- ◎現在時刻(→P.12)・予約時刻は合っていますか？
- ◎ふろ温度・ふろ水位・保温時間は合っていますか？(→P.21)

そして準備

浴槽の排水栓をしてふたをする

1 「運転」を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け「予約」を押す



ふろ予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力してください

🕒を表示し、予約時刻が点滅します。
※工場出荷時はPM6:00になっています。

3 「給湯温度」で予約時刻を設定する



▲は時刻が進みます。
▼は時刻が戻ります。

※設定した予約時刻は、次回変更するまで記憶しています。

※予約時刻の変更をしない場合は4へ

4 「予約」を押す



ふろ予約されました
お風呂の栓はしましたか

予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。

お風呂を沸かす《予約運転》

予約解除

【が点灯している場合】

ふたを開け  を押す



 ふろ予約、解除されました



 が消えて予約を解除します。

.....


【お風呂沸かしが始まっている場合】

 を押す



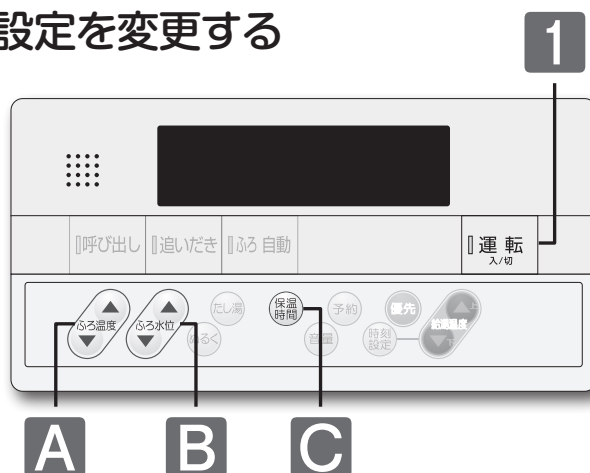
お風呂沸かしを終了します。
ふろ自動ランプ[橙]・ が消灯します。
浴室リモコンでは  も消灯します。



- ふろ予約の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるときや気温によって、多少前後する場合があります。
- 変更した予約時刻は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ予約後に**運転**ボタンを「切」にしてもふろ予約運転は行われます。
また、ふろ予約後(点灯中)は**運転**ボタン「入」/「切」に関係なく、**予約**ボタンを押すと予約は解除されますのでご注意ください。
- 停電やブレーカーを「切」にした場合など通電が止まると、予約は解除されます。
通電復帰後、現在時刻を合わせてから再度**予約**ボタンを押してください。
現在時刻が「--:--」になっている場合、**予約**ボタンは使用できません。押すと“ピッピッピッ”と受け付け禁止音が鳴ります。

ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには

■おふろ沸かしの設定を変更する



1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40°Cです

□ふろ温度の設定

A ふたを開け
ふろ温度 で変更する



ふろ温度 41°Cにセットされました

※省電力待機中にふろ温度ボタンを押すと“ふろ温度、〇°Cです”と音声が出ます。
※ふろ温度についてはふろ温度の目安(→P.22)をご覧ください。

□ふろ水位の設定

B ふたを開け
ふろ水位 を押す
ふろ水位 で変更する



ふろ水位 6です



ふろ水位 5です

水位変更後、約10秒経過すると設定を完了します。



ふろ水位 5にセットされました

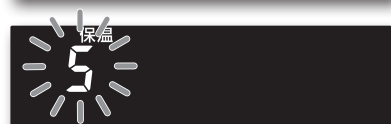
※ふろ水位についてはふろ水位の目安(→P.22)をご覧ください。

□保温時間の設定

C ふたを開け
保温時間 を押す
保温時間 を押して変更する



保温時間 4時間です 変更する場合、もう一度ボタンを押してください



保温時間 5時間にセットされました

保温時間変更後、約10秒経過すると設定を完了します。



※保温時間については保温時間の目安(→P.22)をご覧ください。

ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには

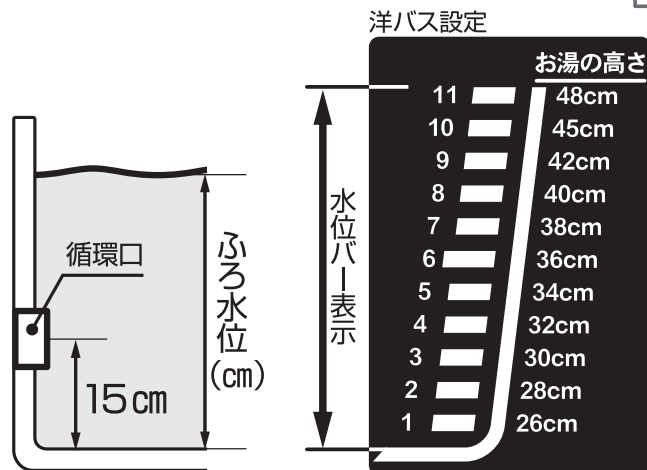
ふろ温度の目安(単位:℃)

40 : 工場出荷時

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準			あつい					

ふろ水位の目安

☐ : 工場出荷時



※ふろ水位とは、浴槽下面からのお湯の高さのことです。
(循環口の中心が浴槽下面より15cmの高さにある場合)

※ふろ水位変更時に、ふろ水位を変更しないまま約15秒経過すると設定を終了します。

※ふろ自動運転の保温中は設定したふろ水位から3cm以上水位が低くなると、設定したふろ水位までたし湯をします。

保温時間の目安(単位:時間)

4 : 工場出荷時

0	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---

※保温時間ボタンを押すたびに、1時間ずつ保温時間が増えます。8時間に達すると0時間に戻り、再び1時間ずつ保温時間が増えます。

※保温時間変更時に、保温時間を変更しないまま約25秒経過すると設定を終了します。

お知らせ

- 夏場など水温が高い場合、ふろ温度を低い温度に設定すると、お湯張り時に加熱しない場合があります。

お願い

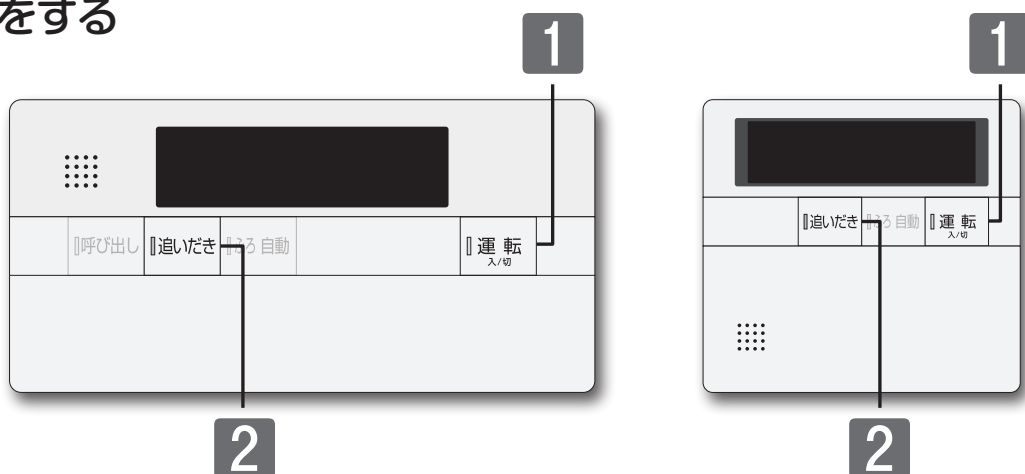
- 浴槽の種類や施工条件・外気温などによって、表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高め設定するとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に変更することをおすすめします。なお、ふろ水位 (cm) は、循環口の中心が浴槽下面から15cmにあることを前提に設定されています。

メモ

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ自動運転の保温中でもふろ温度・ふろ水位・保温時間の設定を変更することができます。
- 保温時のおふろ沸かしは、気温などにより約15～30分の間隔で行います。
- 保温中にふろ温度を高く変更しても、すぐには沸かし上げません。次回沸かし上げ時に、設定変更後の温度まで沸かし上げます。

お風呂のお湯を熱くする

■追いだきをする



警告

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。



注意

●追いだき運転をする前に、浴槽の循環口上部より5cm以上湯(水)があることを確認する。
●浴室リモコンで追いだき運転を何度も繰り返さない。追いだき運転を繰り返すと、最高約50℃まで追いだきします。やけどにご注意ください。

1

追いだき

を「入」にする



給湯温度、40℃です

2

追いだき

を押す



お風呂を沸かします

追いだきランプ[橙]が点灯、・を表示します。

追いだきが終了すると

お風呂が沸きました

追いだきランプ[橙]・・が消えます。

【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】

浴室リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。(追いだき時の最高温度:約50℃) 浴槽の湯の温度が設定したふろ温度より2℃以上低い場合は、設定したふろ温度まで沸かします。
台所リモコンで操作	設定したふろ温度まで沸かします。

もっと熱く

追いだき運転終了後に浴室リモコンの 追いだき を押す

追いだき中止

追いだき を押す



追いだきランプ[橙]・・が消え、追いだきを中止します。

お願い

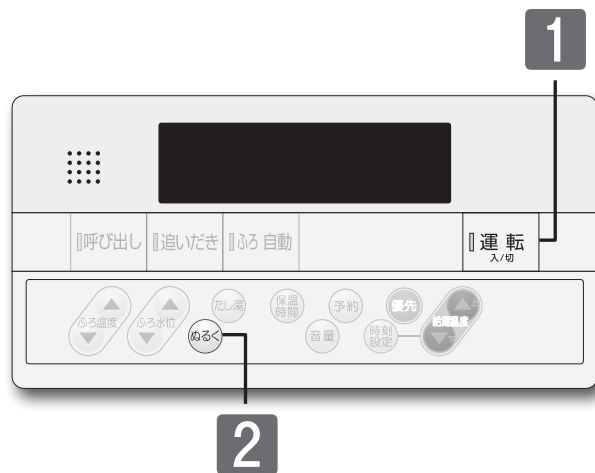
- 浴室リモコンの追いだきボタンは長く(5秒以上)押さないでください。入浴中に追いだきボタンを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態になります。誤って押し続けた場合(追いだきランプが点滅)は、もう一度追いだきボタンを押してください。アラーム番号「032」が表示された場合は運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にするとアラームは解除されます。追いだきをする場合は、再度、追いだきボタンを押してください。

メモ

- 台所リモコンで追いだきボタンを押すと台所リモコンでは“お風呂を○℃(設定したふろ温度)に沸かします”と音声ガイドが流れ、浴室リモコンでは警告音の後、“お風呂を沸かします”と音声ガイドが流れます。

お風呂のお湯をぬるくする

■たし水をする



1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40℃です

2 ふたを開け ぬるく を押す



水をたします

水を表示します。

※水を約12ℓ入れます。

終了すると 水 が消えます。

もっとぬるく ぬるく運転終了後に ぬるく を押す

ぬるく中止 ぬるく を押す



水 が消え、たし水を中止します。

！お知らせ

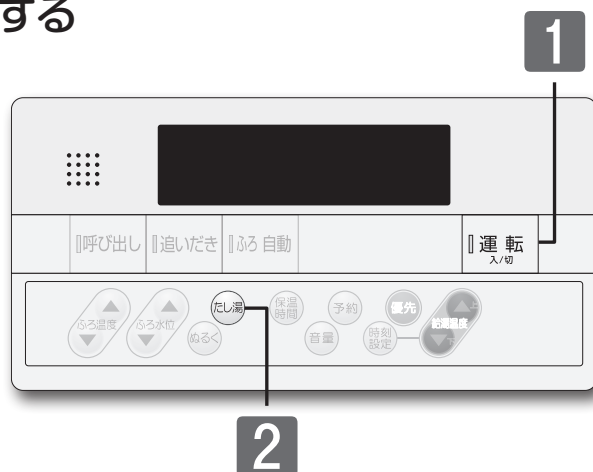
- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了するとぬるく運転を再開します。
- 給湯・シャワーの使用中は、ぬるくボタンを使用できません。押すと“ピッピッピッ”と受け付け禁止音が鳴ります。



- ぬるく運転では自動的に水を約12ℓ入れます。途中で湯かげんを確かめてください。

お風呂のお湯をふやす

■たし湯をする



1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40℃です

2 ふたを開け たし湯 を押す



お湯をたします

湯・炎を表示します。

※ふろ温度のお湯を約24ℓ入れます。

終了すると湯・炎が消えます。

もっと増やす たし湯運転終了後に たし湯 を押す

たし湯中止 たし湯 を押す



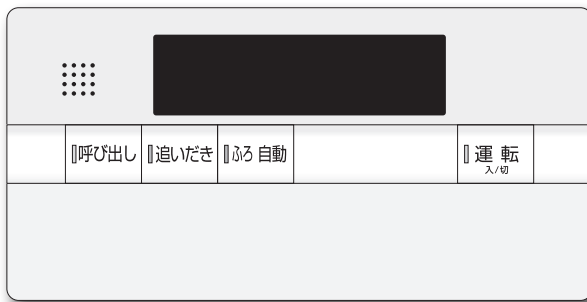
湯・炎が消え、たし湯を中止します。

！お知らせ

- 給湯・シャワーを使用中にたし湯運転をすると、給湯・シャワーは設定したふろ温度で出湯されます。このときリモコンに表示の給湯温度は変わりません。設定したふろ温度が高いときに、給湯・シャワーを使用される場合はご注意ください。
- たし湯運転が先に終了しても出湯中のお湯の温度は設定したふろ温度のままで、リモコンに表示の給湯温度には戻りません。リモコンに表示の給湯温度に戻すには給湯・シャワーを一旦止めてから再度出湯してください。
- 給湯温度を50℃以上に設定している場合は、たし湯運転終了時(たし湯運転と給湯・シャワー同時使用のときにたし湯運転が先に終了した場合は出湯停止時)に“給湯温度〇℃です 熱い温度にセットされました 注意してください”と、音声ガイドが流れます。
- 夏場など水温が高い場合、ふろ温度を低い温度に設定すると、たし湯時に加熱しない場合があります。

暖房運転をするには

■暖房端末機器を運転する



(リモコンの操作はありません)

〈暖房端末機器にスイッチがあり、信号線を接続している場合〉

運転する

暖房端末機器の
運転スイッチを「入」にする



リモコンの運転ボタン「入」のとき、機器の加熱中は flame を表示します。

停止する

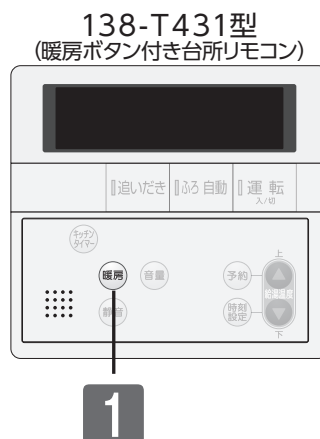
暖房端末機器の
運転スイッチを「切」にする



- リモコンの flame は、リモコンの運転ボタン「入」/「切」に関係なく、暖房端末機器の運転状態により点灯および消灯をします。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 暖房端末機器の運転方法・温度調節の方法については、暖房端末機器の取扱説明書をご覧ください。

暖房運転をするには

■暖房運転をする



リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく使用できます。

138-T431型(暖房ボタン付き台所リモコン)で暖房端末機器の「入」/「切」をします。

まずは準備 暖房端末機器のバルブを開ける

1 ふたを開け **暖房** を押す



暖房を始めます


暖房を表示します。
機器の加熱中はを表示します。

停止する

ふたを開け **暖房** を押す




暖房を終わります

暖房が消えます。
機器が加熱していた場合はが消えます。

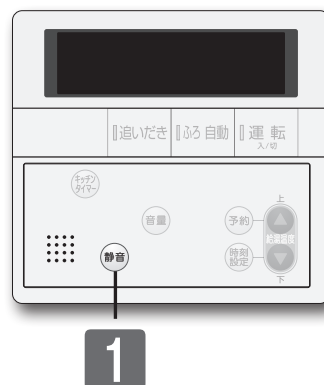
暖房端末機のバルブを閉める



- 暖房運転中のリモコンのは、リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく、暖房端末機器の運転状態により点灯および消灯をします。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 暖房端末機器に運転スイッチがない場合や暖房端末機器が熱源機と信号線で接続されていない場合に、台所リモコンの**暖房**ボタンをご使用ください。
- 暖房端末機器の運転方法・温度調節の方法については、それぞれ付属の取扱説明書をご覧ください。

暖房運転をするには

■暖房時の運転音を小さくする



リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく設定できます。

□暖房時の運転音を小さくする

1 ふたを開け **静音** を押す



暖房静音セットされました
静音を表示します。

解除する

ふたを開け **静音** を押す



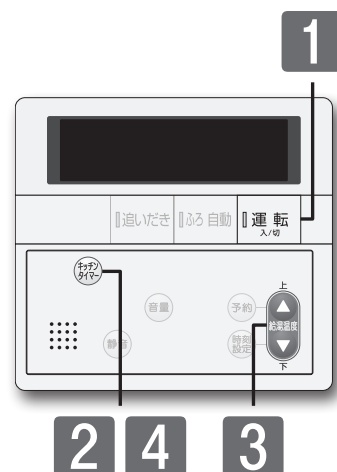
暖房静音解除されました
静音が消えます。



- 暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- リモコンの**運転**ボタンを「切」にしても設定は解除されません。
- 暖房静音運転中に追いだき運転やふろ自動運転を行うと、暖房能力が上がるので暖房運転音が静かにならない場合がありますが、異常ではありません。

キッチンタイマー

■キッチンタイマーを使う



1 「運転」を「入」にする



給湯温度、40℃です

2 ふたを開け **キッチンタイマー** を押す



上下ボタンで入力してください

※初回以降は前回設定したタイマー時間を表示します。

3 **給湯温度** でタイマー時間を設定する



▲は時間が増えます。
▼は時間が減ります。

※キッチンタイマーは30秒刻みで最大60分まで設定できます。

4 **キッチンタイマー** を押す



※キッチンタイマーボタンを押さなくても、タイマー時間変更後約5秒経過すると開始音(チャイム)を鳴らし、カウントダウンを始めます。

タイマー時間が点滅から点灯に変わり、カウントダウンを始めます。
※カウントダウンは1秒刻みで表示します。

カウントダウンが終了するとチャイムでお知らせします。

タイマー中止 **キッチンタイマー** を押す



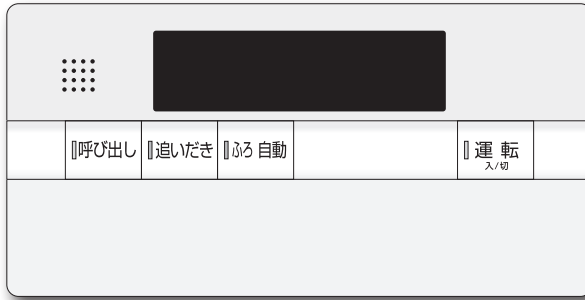
現在時刻を表示します。



- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 初回以降、タイマー時間設定時に、タイマー時間を変更しないまま約15秒経過すると開始音(チャイム)を鳴らし、カウントダウンを始めます。

知っていると便利な機能

■ふろ配管内の残り湯を流し出す(配管クリーン)



□自動配管クリーン(リモコンの操作はありません)

まずは確認

- ◎ふろ自動運転でおふろを沸かししましたか？
- ◎ふろ自動ランプは消えていますか？
- ◎残り湯が循環口より上(約5cm)にありますか？
- ◎排水中に給湯などを使用していませんか？

❗必ずふろ自動ランプの消灯を確認してください。点灯している場合はふろ自動ボタンを押します。


配管クリーン開始

おふろの栓を抜きます

残り湯の水位が循環口より低くなると、自動配管クリーンが始まります

6ℓのお湯(または水)を約1分で流し、自動停止します。



リモコンの運転ボタン「入」のとき、お湯を流し出している間は**クリーン**とを表示します。

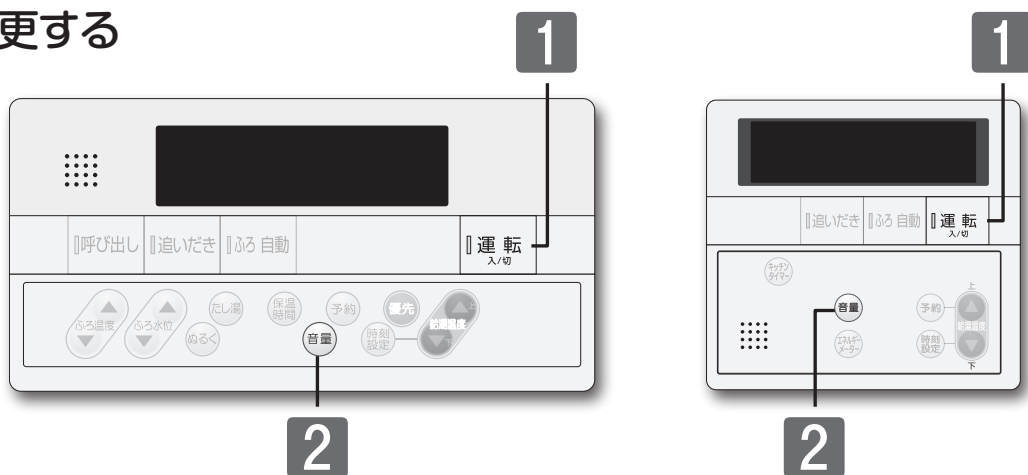
便利な使い方



- 自動配管クリーンはリモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく機能します。
ただし、停電や電源プラグを抜いた場合など一時的に通電が止まった場合は機能しません。
- 自動配管クリーンはリモコンの**運転**ボタン「入」ではリモコンに表示のふろ温度のお湯で、「切」では水で流し出します。
- 自動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、自動配管クリーンを終了します。
- ふろ自動運転終了(ふろ自動ランプ消灯)後、お湯の汲み出し等で浴槽の水位が循環口より低くなってしまった場合にも、自動配管クリーンの機能がはたらきます。

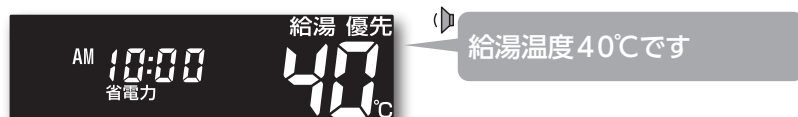
設定の変更をする

■音量を変更する



音量はリモコン(浴室・台所)別に変更できます。

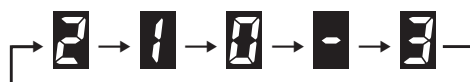
1 運転 入/切 を「入」にする



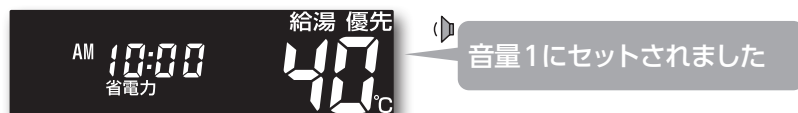
2 ふたを開け 音量 を押す
音量 を押して変更する



音量ボタンを押すたびに以下のように音量が変わります。



約10秒音量ボタンの押し操作がないと、設定を完了します。



音量の目安

2 : 工場出荷時

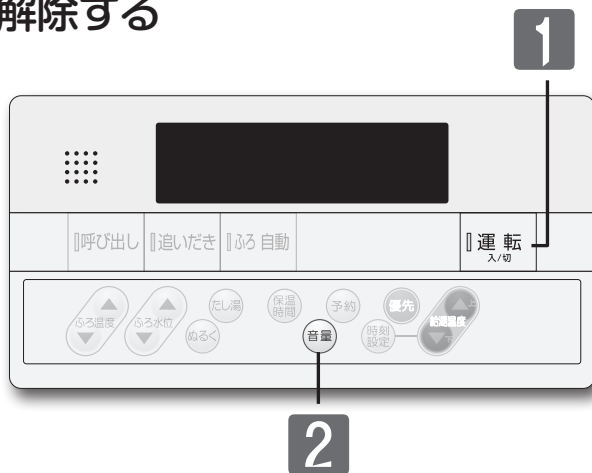
音量	音声の大きさ	リモコン操作音	警告音声 呼び出し音声	音声ガイド 上段: 音量 を押したとき 下段: 設定完了時
3	大	大	大	音量3です 音量3にセットされました
2	中	中	中	音量2です 音量2にセットされました
1	小	小	中	音量1です 音量1にセットされました
0	無音声	小	中	音声を消します (音声ガイドはありませんが、ふろ自動/追いだし完了時のメロディは音量“小”で流れます)
-	無音声	無音	中	音を消します (音声ガイドはありません)



- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量ボタンを押した後、もう一度音量ボタンを押さないで約25秒経過すると、設定を終了します。
- 音量を 0・- に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、警告音声や呼び出しボタンが押されたときのチャイム・呼び出し音声は音量“中”で流れます。
- 音量の設定は連動していません。それぞれのリモコン(浴室・台所)で設定を行ないます。

設定の変更をする

■省電力を解除する



5分以上お湯の使用やリモコン操作がないと、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。
省電力を解除するには、浴室リモコンで次の操作を行ってください。(台所リモコンも同時に設定されます)

1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け 音量 を5秒以上長押しする



省電力、解除されました

省電力が消えます。

設定を戻す

1 ~ **2** の操作をする



省電力、セットされました

省電力を表示します。

省電力待機中に画面を表示させるには

各ボタンを押すと表示します



お知らせ

右図のボタンは、押すと画面が表示されると同時に、動作を開始します。

呼び出し

追っだし

ふろ 自動

リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50°C以上に設定されているとき
- ・ふろ自動運転中(保温/ふろ予約を含む)
- ・暖房加熱中(凍結予防を含む)

お願い

- 省電力待機中に給湯・シャワーを使うときは、画面を表示させて給湯温度を確認してからご使用ください。



- 省電力は運転ボタンの「入」/「切」では解除できません。
- 省電力待機中は、運転ランプが少し暗くなります。
- 台所リモコンの省電力待機中に、浴室リモコンの呼び出しボタンが押されたときは、台所リモコンは画面の表示をしないまま“おふろで呼んでいます”と音声のみが流れます。

冬期の凍結予防をするには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料になります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2

← 外気温が-15℃を下回るとき

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくるとふろ配管や暖房回路の凍結を自動的に予防する凍結予防装置がついています。


機器のブレーカーを「切」にしない

分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。


浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

ふろ配管は気温が下がってくると自動的に浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため、浴槽の残り湯は捨てずに、そのままにしておいてください。

- ◆浴槽の水(湯)を循環する凍結予防の動作中は、リモコンにを点滅表示します。

台所リモコン表示例



※リモコンの**運転**ボタン「切」や省電力待機中は表示をしません。

暖房回路の凍結予防のために熱媒元栓は開けておく

暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転し、暖房回路を温めて凍結予防をします。

- ◆機器および端末機器の電源プラグを抜いたり、分電盤のブレーカーを「切」にしないでください。(端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります)
- ◆暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。(→P.33)

お願い

- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、リモコンの**運転**ボタンを「入」にしてください。
- 凍結予防装置が作動している間や固着防止のため熱媒弁が開閉(24時間に1回)している間は、機器を使用しなくても熱媒使用料金が発生します。

冬期の凍結予防をするには

処置 2

給湯栓から水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 リモコンの運転ボタンを「切」にする

必ず行います。

※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。

2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける

流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。



×モ

- 給湯栓から水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、リモコンの**運転**ボタンを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.4)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

■不凍液による方法

- 寒冷地では指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は経年劣化しますので毎シーズン初めにお買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスに点検を依頼してください。(有料)
- 不凍液の性能が低下している場合は交換(有料)が必要です。性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。凍結したままでは絶対に使用しないでください。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。



注意

●凍結による水漏れに気づいたときは、速やかに給水元栓を閉め、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客さまの責任になります。



必ず行う

1 熱媒元栓および給水元栓を閉める

機器の下部にあります。

※給水元栓を閉めるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2 リモコンの運転ボタンを「切」にする

※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。

3 ときどき給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する

給水元栓は機器の下部にあります。給湯栓から水が出ることを確認したら、給湯栓を閉めます。水が出てくれば使用できます。

4 給水元栓を全開にし、熱媒元栓を全開にする

必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。

5 リモコンの運転ボタンを「入」にする

6 給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する






7 ふろ自動運転を行い、機器の水漏れがないことを確認する また、循環口からお湯が出ることも確認する

※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

お願い

●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、すべての給湯栓を閉めてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

 警告	●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。  分解禁止
 注意	●台所リモコンは防水タイプではないので、水をかけない。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因になります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。 ●リモコンのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤(塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤)、みがき粉(研磨剤の入った洗剤)を使用しない。リモコン本体が変色や変形することがあります。  禁止
	●機器本体のお手入れは、熱媒元栓を閉め、ブレーカーを「切」にし、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないように、手袋などを着用し十分注意してください。  必ず行う

■点検のポイント(月1回程度)

次の4つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？

水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？

3. 機器の外観に異常は見られませんか？

4. 浴槽に循環口フィルターがついていますか？



■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどは、使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してお使いいただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

なお、給水用具(逆流防止装置)については、(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。点検は、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへご相談ください。

お願い

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまります。循環口フィルターが詰まると、お湯張りができなくなったり、追いだきができなくなる場合があります。

- 1** 左に回して手前に引き出す。
- 2** 歯ブラシなどで洗います。
- 3** △の印を合わせはめます。
- 4** 右に回して止めます。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。

- 1** 給水元栓を閉める
給湯栓を開けて閉める
- 2** 水抜き栓を外す
- 3** 歯ブラシなどで洗う
- 4** 水抜き栓を元に戻す
- 5** 給水元栓を全開にし、水漏れがないか確認する

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は熱媒元栓を全開にして、リモコンの運転ボタンを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な音・異常な温度を感じられたときや、機器または配管から水漏れしているときは、機器の使用を中止し、熱媒元栓を閉めてお買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けないでふる運転をすると、ポンプなどの故障の原因になります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓(給水口フィルター)を元に戻し確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れしたりすると、そこから水漏れします。


故障かな?と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると、機器が加熱を止め、水になります。給湯栓をもっと開いてください。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	熱媒元栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.11) 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.5) 給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.37) リモコンの 運転 ボタンが「入」になっていますか。 分電盤のブレーカーが「入」になっていますか。(→P.11)
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない 高温のお湯が出ない	熱媒元栓が全開になっていますか。(→P.11) 給水元栓が全開になっていますか。(→P.11) 給湯温度の設定は適切ですか。(→P.14) 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 「ふろ自動」や「たし湯」中にお湯を使用すると給湯温度の表示はそのまま、ふろ温度のお湯が出ます。ふろ自動やたし湯が終了しても、出湯中のお湯の温度は設定したふろ温度のままで給湯温度に戻りません。一旦お湯を止めてから再度給湯栓を開いてください。
給湯温度の変更ができない	操作しているリモコンの画面に優先が表示されていますか。(→P.15)
給湯栓から出るお湯の量が少ない 給湯栓から出るお湯の量が変化する	機器から一度に出るお湯の量には限りがあります。同時に複数の給湯栓からお湯を出したり、「ふろ自動」や「たし湯」運転をするとお湯の量が減る場合があります。 湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡になって出てくる現象です。汚濁とは違って、まったく無害なもので、異常ではありません。

おふろ	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
おふろの温度が熱い おふろの温度がぬるい	ふろ温度の設定は適切ですか。(→P.21) 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.37)
おふろのお湯が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか。(→P.21) 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.37) 残り湯がある状態で「ふろ自動」を行うと、水位が高くなる場合があります。 設定した水位にならない場合は、ふろ水位のリセットを行ってください。(→P.41)
「ふろ自動」の開始時にお湯張りがときどき停止する	正確にお湯張りを行うため、浴槽の残り湯を確認するための動作です。異常ではありません。
おふろを使用していないのに循環口からお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水した後、ふろ配管内の残り湯を流し出す機能がはたらくと、循環口からお湯(水)が出ます。異常ではありません。 お湯を使用すると機器内が温まり、ふろ配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 凍結予防のためにポンプが回ったとき、ふろ配管に残ってる水が循環口から出る場合があります。
自動配管クリーンが途中で止まる	自動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、自動配管クリーンは終了します。異常ではありません。
追いだきができない 追いだきが停止する	循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.37) 循環口上部より5cm以上お湯(水)が入っていますか。足りない場合はお湯(水)を足してください。
おふろの沸き上がりがいつもより時間がかかる	給湯・暖房・おふろ沸かしを同時に行うと一時的に能力が下がり、沸き上がりまでに時間がかかる場合があります。

故障かな?と思ったら

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
「ふろ自動」保温中にときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ふろ自動」・「追いだき」・「ぬるく」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
冬場など気温が低いとき追いだきと暖房のポンプが自動的に動く	凍結予防のため、ポンプが自動運転を行っています。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉まっていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合はブレーカーを一度「切」にし、再度「入」にしてください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

リモコン	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
運転ボタンを押しても「入」にならない	停電していませんか。(→P.5) 分電盤のブレーカーが「入」になっていますか。(→P.11)
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	5分以上お湯の使用やリモコン操作がないと、節電のため画面表示が消えます。(省電力待機中)
リモコンの時刻表示が「--:--」になっている	停電やブレーカーを「切」にした後、通電復帰後の時刻表示は「--:--」になります。時刻合わせを行ってください。(→P.12)
音が出ない	音量の設定が無音や無音声になっていませんか。リモコンの設定を確認してください。(→P.31)
音が小さい	音量の設定は適切ですか。(→P.31)
音がこもる	スピーカー部分に湯(水)がかかっていますか。
画面に  が点滅している	凍結予防のためポンプが作動しているとき、リモコンの画面に表示します。(→P.33)

暖房	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
床暖房の温度が低くなったり、浴室暖房乾燥機の温風温度が低下する	給湯・暖房・おふろ沸かしを同時に行うと一時的に能力が下がり、床暖房の温度や浴室暖房乾燥機の温風温度が、低くなる場合があります。
床面がなかなかあたたまらない	床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などにより床暖房があたたまるまでの時間は異なります。 床暖房の温度設定は適切ですか。 暖房・給湯・おふろ沸かしを同時に行うと能力が下がり、床がなかなかあたたまらない場合があります。
床暖房を使用していないのに床があたたまる	暖房回路内にたまった空気を抜くためと暖房ポンプの固着を防止するために、約1か月ごとにポンプが作動します。このときに他の暖房端末機器(浴室暖房など)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

その他	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。

故障かな?と思ったら

■アラーム表示について (リモコンに表示されます)

機器に不具合が生じると、その原因をリモコンにアラーム番号で表示または点滅してお知らせします。

〔浴室リモコン〕

アラーム番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。
ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



〔台所リモコン〕

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



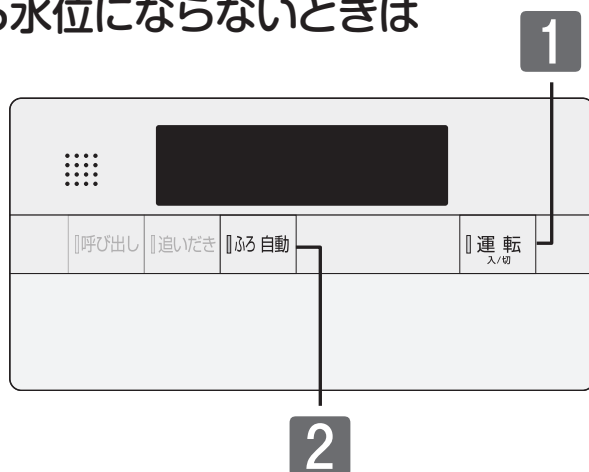
お客さまで対処が可能なもの		
アラーム番号	原因	処置
032	浴槽の排水栓閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
043	補給水異常	手動補水スイッチを取り付けている場合は、手動補水を行う。
052	水位リセット操作時の浴槽排水忘れ	浴槽の湯(水)を排水する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
252	浴槽の排水栓閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	追いだき時に浴槽のお湯(水)が足りない	運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 循環口の上部より5cm以上お湯(水)を入れてから追いだきする。
	循環口フィルター詰まり	循環口フィルターを掃除し、正しく取り付ける。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	ふろ自動ボタンと追いだきボタンを押し間違えた	運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 ふろ自動ボタンを「入」にする。
562	注湯・注水ができない	断水でないこと、または給水元栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。

◇処置をしてもなお、アラームが表示されるとき、上記以外のアラームが表示されたとき、その他わからないときは、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスまでお問い合わせください。

その他のアラーム								
002	173	310	311	312	313	321	323	331
333	341	343	351	422	432	433	501	542
543	591	623	651	653	661	663	700	740
750	760							

故障かな?と思ったら

□設定したふろ水位にならないときは



「故障かな?と思ったら」を確認しても、設定した水位どおりにおふろが沸き上がらない場合は、次の手順をお試してください。

まずは準備

- ◎浴槽の排水栓を抜き、空にする
- ◎空になったら、浴槽の排水栓をする
- ◎ふろ水位を確認する

1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふろ自動 を5秒以上長押しする



ふろ自動ランプ[橙]がゆっくり点滅します。
ふろ自動運転が終了するまでそのままにします。

※ふろ自動運転完了後、それでも水位がおかしい場合は、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.38～40)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合は、お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印など)
 - (2) 型番(例) 147-T001B 型
※銘板をご覧ください。(→P.2)
 - (3) 現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。
 - (4) 訪問ご希望日



保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証期間・保証内容などをご確認の上、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料になります。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 万一の熱媒漏れを防止するため、熱媒元栓を閉めておいてください。
- お買い上げの販売店かメンテナンス会社または、もよりの大阪ガスへお問い合わせください。

仕様一覧

〔仕様表〕

項 目	内 容		
型 番	147 - T001B 型	147 - T002B 型	147 - T003B 型
型 式 名	HNU-331FKD	HNU-241FKD	HNU-161FKD
外 形 寸 法 (mm)	幅304×奥行270×高さ679		
質 量 (kg)	33		
種 給 湯 方 式	先止め式		
類 暖 房 方 式	温水循環方式		
設 置 方 式	屋内設置形 パイプシャフト設置式標準設置形		
水 使 用 熱 媒 差 圧	100～300kPa (1.0～3.0kg f/cm ²)		
使 用 水 圧	100～400kPa (1.0～4.0kg f/cm ²)		
圧 最 低 作 動 水 圧	10kPa (0.1kg f/cm ²)		
最 低 作 動 水 量	3.5ℓ / 分		
給 湯	0ℓ / 分以上 (締切り使用可)		
暖 房	3.8ℓ / 分		
ふ ろ	20A (R3/4 オネジ)		
熱 媒 入 ・ 出	20A (R3/4 オネジ)		
給 水 ・ 給 湯	CCHM ジョイント		
暖 低 温 往 き	CCHM ジョイント		
高 温 往 き	CCHM ジョイント		
房 戻 り	CCHM ジョイント		
ふ ろ	CCHM ジョイント		
オ ー バ ー フ ロ ー	15A (R1/2 オネジ)		
電 電 源	AC100V (50/60Hz)		
リ モ コ ン 側	DC24V 以下		
消 待 機 時	1.5W (浴室・台所リモコン取付時)		
同 時 使 用	230W		
凍 結 予 防 作 動 時	140W		
リ モ コ ン コ ー ド	浴室リモコン2心、台所リモコン2心		
安 全 装 置	過圧防止安全装置 (スプリング式) 空だき防止装置 (水量センサ・水位電極) 漏電安全装置 (漏電スイッチ)		
	誘導雷保護装置 (サージアブソーバ) 凍結予防装置 (ポンプ運転) 過電流防止装置 (電流ヒューズ)		

〔能力表〕

型 番	出湯能力 (最大) ℓ / 分		能力 kW {kcal/h}		
	水温 + 25℃ 上昇	水温 + 40℃ 上昇	給湯	追いだき	暖房
147-T001B 型	32.0	20.0	58.1 {50,000}	9.3 {8,000}	14.0 {12,000}
147-T002B 型	24.0	15.0	41.9 {36,000}	9.3 {8,000}	14.0 {12,000}
147-T003B 型	16.0	10.0	32.6 {28,000}	9.3 {8,000}	11.6 {10,000}

◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/cm²}のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。